

雇用・景況アンケート調査結果

平成23年7月実施分

平成23年9月
長 浜 市

【 調 査 概 要 】

1. 調査時点

平成 23 年 7 月

2. 調査対象期間

【今期】 平成 23 年 1 月 ～ 6 月

【来期】 平成 23 年 7 月 ～ 12 月

3. 前回調査時点

平成 23 年 1 月

4. 調査事業所

概ね 20 人以上の従業員を有する事業所 300 社

〔業種別状況〕

	社数(社)	構成比(%)
製造業	118	39.3
建設業	27	9.0
卸売業	20	6.7
小売業	27	9.0
サービス業	52	17.3
運輸・通信・倉庫業	35	11.7
料理・飲食・旅館業	21	7.0

〔地域別状況〕

	社数(社)	構成比(%)
長 浜	211	70.3
浅 井	13	4.3
び わ	15	5.0
虎 姫	10	3.3
湖 北	11	3.7
高 月	24	8.0
木之本	9	3.0
余 呉	5	1.7
西浅井	2	0.7

5. 回収率

42.6 % (回収件数 128 社)

6. 調査内容

(1) 景気について

- ① 日本経済全体の景気の現状をどのように認識しておられますか。
- ② 今年下半期(平成23年7~12月)の景気をどのように見通しておられますか。
- ③ 景気の先行きの懸念材料は何ですか。

(2) 労働者数について

- ① 平成23年1月と比較して、正規雇用従業員数の変化についてお教えてください。
- ② 平成23年1月と比較して、派遣・請負・期間労働者数の変化についてお教えてください。
- ③ 今後の正規雇用従業員数の見通しについてお教えてください。
- ④ 今後の派遣・請負・期間労働者数の見通しについてお教えてください。
- ⑤ 人材確保に関して、採用対象及び職種についてお教えてください。

(3) 雇用調整の動向について

- ① 平成23年1月以降の雇用調整の有無についてお教えてください。
- ② ①でアと回答された方にお聞きします。
実施した雇用調整の内容として、あてはまるものに○をつけてください。
- ③ 今後の雇用調整の実施についてお教えてください。
- ④ ③でアと回答された方にお聞きします。
実施する雇用調整の内容として、あてはまるものに○をつけてください。
- ⑤ 国の雇用に関する助成制度(雇用調整助成金、中小企業緊急雇用安定助成金など)の利用状況についてお教えてください。
- ⑥ 雇用に関して行政等に期待されることは何ですか。

(4) 経営状況について

- ① 売上高・受注高について、平成23年7月現在は前年同時期に比べてどのような状況ですか。
- ② 売上高・受注高について、今後の見通しはどのようにお考えですか。
- ③ 資金繰りにおいて、公的又は金融機関の融資制度を利用する際の問題点を選んでください。

(5) 課題・問題点等

- ① 行政の商工業施策で、問題と感ずることはありますか。
- ② 行政の中小企業振興対策や雇用対策等について意見や要望事項がありましたら、ご記入ください。
- ③ 他分野への事業展開についてのお考えやご興味はありますか。
- ④ 前問③で「ある」と回答された方にお聞きします。
どのような分野への事業展開又は興味をお持ちですか。
- ⑤ 行政に対する要望等がありましたら、ご記入ください。

(6) 業種別項目

- ① 経営に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ② 資金に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ③ 雇用に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ④ 直面している経営上の問題点を重要度の高い順に3つまで選んでください。

(7) 空き工場、空き地について

- ① 今年上半期（平成23年1～6月）、新たな設備投資（賃貸を含む）を実施しましたか。
- ② 前問①で「実施した」と回答された方にお聞きします。
どれくらいの投資規模でしたか。
- ③ 今年下半期（平成23年7～12月）、新たな設備投資を計画していますか。
- ④ 前問③で「計画している」と回答された方にお聞きします。
どれくらいの投資規模を計画していますか。
- ⑤ 現在、空き用地及び空き工場を所有しておられますか。
- ⑥ 前問⑤で「所有している」と回答された方にお聞きします。
どのような資産を所有していますか。

(8) バイオ関連産業について

- ① バイオ関連事業のどのような部分に興味がありますか。
- ② バイオ関連の事業を実際に行っていますか。
- ③ ②で「ア. 行っている」と回答された方にお聞きします。取り組まれている事業について差し支えない範囲で記入してください。
- ④ ②で「イ. 行っていない」と回答された方にお聞きします。今後新規事業としてバイオ関連事業に取り組みたい意向はありますか。
- ⑤ 長浜バイオインキュベーションセンターをご存じですか。
- ⑥ 長浜バイオインキュベーションセンターへの入居意向はありますか。
- ⑦ 大学や公設試験研究機関と産学官連携の共同研究を行っている、または興味がありますか。
- ⑧ 本市では、長浜サイエンスパークのバイオ技術を活用したプロジェクトとして下記の取り組みを行っていますが、どの取り組みに関心がありますか。

(9) 経営課題について

- ① 経営課題の解決のため、専門家からのアドバイスを受けられたことがありますか。
- ② 経営の向上や新規事業の開拓といった、経営課題の解決のためのコンサルティングを希望される中小企業に向けて、財団法人滋賀県産業支援プラザでは、専門家派遣制度（有料）を行っておられます。この制度をご存知ですか。また、利用されたことがありますか。バイオ関連の事業を実際に行っていますか。

(10) 東日本大震災による事業活動への影響について

- ① 今回の震災により、事業活動に何らかの影響を受けていますか。
- ② ①で「イ. 間接的な影響を受けている。」「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。
影響を受けている（受ける見通しである）理由について、次のうちあてはまるもの全てをお答えください。
- ③ ①で「イ. 間接的な影響を受けている。」「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。
影響を受けている（受ける見通しである）具体的な内容や、それに対して今後考えている対応などについて記入してください。
- ④ ①で「ア. 自社・自店の事業拠点の被災など、直接的な影響を受けている。」～「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。
今回の震災の影響による当面の生産・営業活動について、次のうちあてはまるものを1つお答えください。
- ⑤ ①で「ア. 自社・自店の事業拠点の被災など、直接的な影響を受けている。」～「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。
今回の震災により、今後1年の売上高にどれくらい影響を及ぼすとお考えですか。
- ⑥ 震災の影響により、市へ求める取組みがありましたら記入してください。
- ⑦ 今、取り組むべき最も大切なことは何であるとお考えですか。次のうちあてはまるものをお答えください。

(11) 今夏の節電対策について

- ① 全国的な電力不足が懸念されるなか、何らかの節電対策を実施していますか。
- ② 関電節電要請15%程度についてお聞きします。あてはまるものをお答えください。
- ③ ①で「ア. 実施している。」「イ. 今は実施していないが、実施を検討中である」と答えた方にお聞きします。
実施している（実施を検討中である）節電対策について、次のうちあてはまるもの全てをお答えください。
- ④ 生産活動等への影響がありましたら記入してください。

総評

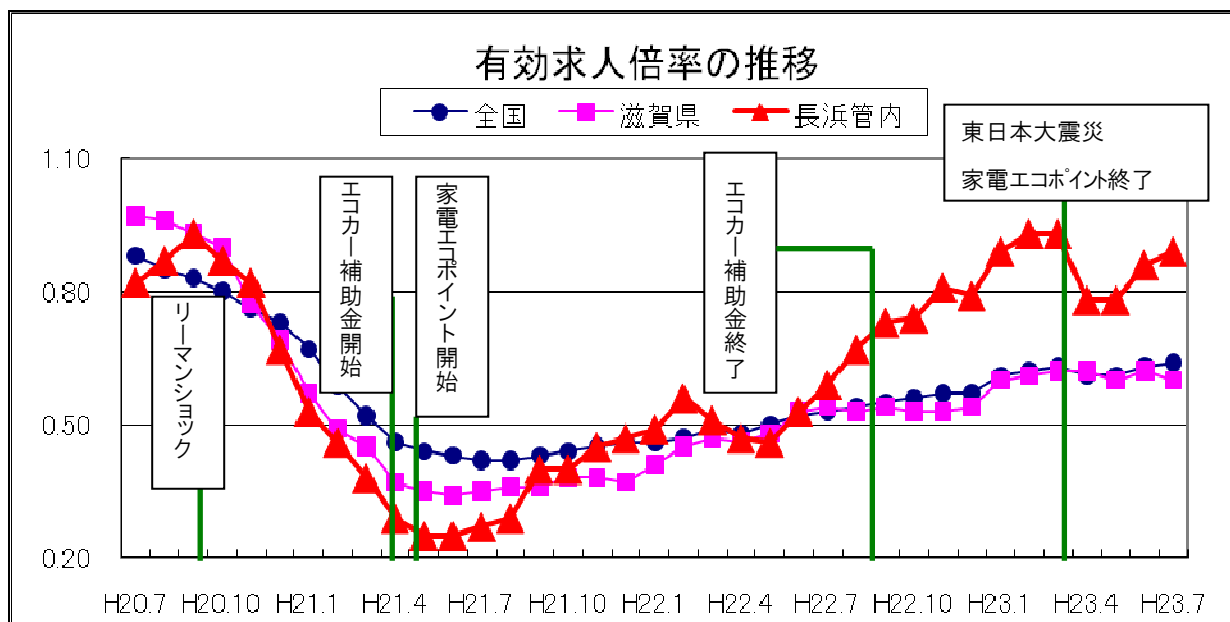
緩やかな回復傾向から横ばいの状況となっていた市内の景況感は、「横ばい」という傾向が強いなかで、下降傾向が増加しているものと推察される。東日本大震災の影響としては、市内の76.5%の企業が直接又は間接的に影響を受けており、特に「仕入先又は納入先の影響・被害」や「震災に伴う消費マインドの低下」をあげる企業が多かった。震災による今後1年の売上高に与える影響については、4割超の企業が「1～30%の減少」と見込んでいる一方、「特に影響しない」とする企業が3割近くとなった。また、今夏の節電対策については、78.1%の企業が何らかの節電対策を行っているという結果となった。今後については、「現状横ばい」とする企業が半数近くを占めるが、長引く個人消費の低迷や円高、電力供給不安など、企業を取り巻く環境が不透明であるため、やや後退の傾向であると推察される。

雇用については、正規労働者は増加の傾向が継続しているものの、非正規労働者については、横ばいの傾向が見られる。雇用情勢全体としては、ハローワーク長浜管内の有効求人倍率が平成23年7月現在で0.89倍となっており、震災後一時的に下降したものの、有効求人数は2,717人（求職者数3,053人）と回復の兆しがみえてきている。

企業収益については、震災前の前回調査時と比べると減少傾向が見られる業種が多く、全体としては前回同様、増加した企業と減少した企業が同程度であった。今後もしばらくはこの傾向が続くものとみられる。

中小企業が多い本市においては、一部業種で改善傾向がみられ明るい材料が出てきているものの、下降傾向の企業が増えており、景気の回復感を実感するまでには、まだしばらく時間がかかるものと推察する。

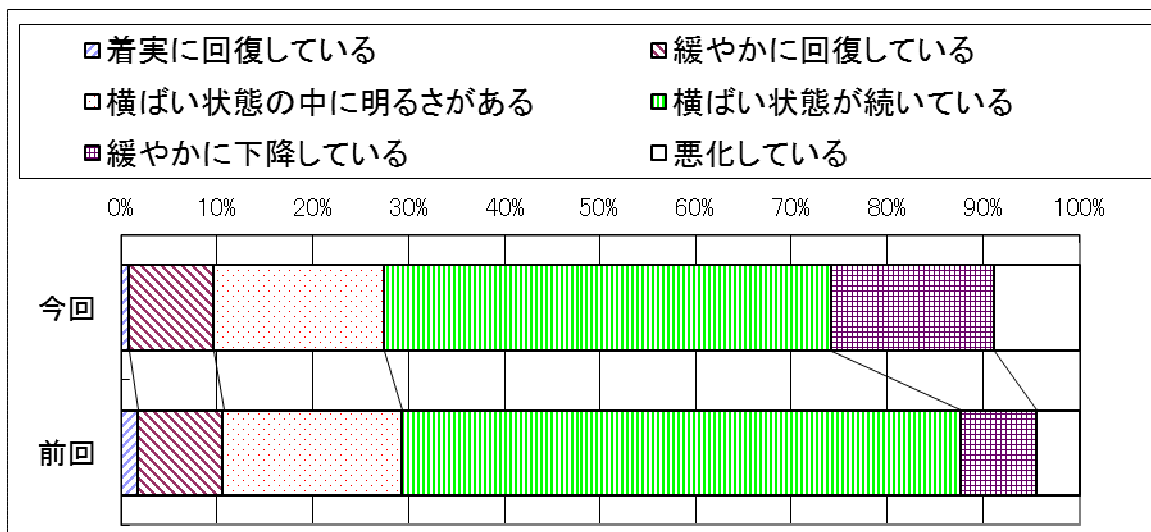
*国においては、平成23年7月の月例経済報告において、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる」としている。



(1) 景気について

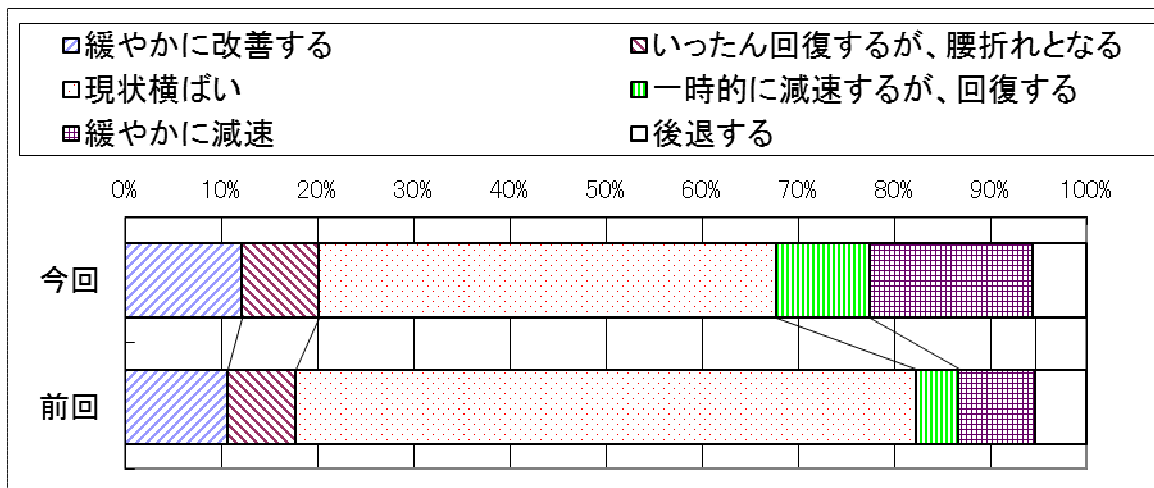
① 日本経済全体の景気の現状をどのように認識しておられますか。

今回の調査では「緩やかに下降している」が16.9%、「悪化している」が8.9%となっており、あわせて前回比13.4ポイントの大幅な増加となっている。一方で、「緩やかに回復している」が8.9%、「横ばい状態の中に明るさがある」「横ばい状態が続いている」があわせて64.5%となっており、前回比12.4ポイント減少している。全体的には震災の影響により、下降傾向にある企業が増えている一方、前回同様「横ばい状態」の傾向が続いていると推察される。



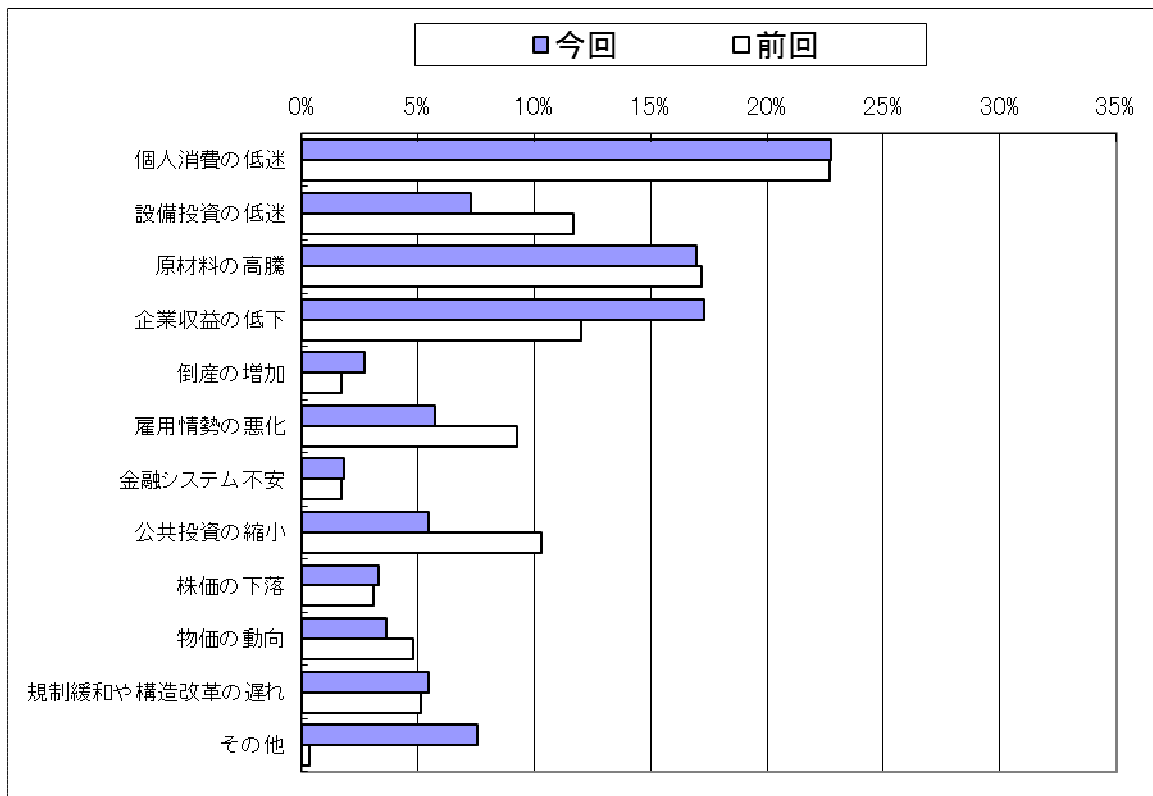
② 今年下半期（平成23年7～12月）の景気をどのように見通しておられますか。

今後の見通しは、「緩やかに改善する」が12.1%と、前回比1.5ポイント増加する一方「後退する」と「緩やかに減速」は22.6%と、同9.3ポイント増加した。また、「現状横ばい」が47.6%と、前回比17ポイント減少しており、前回調査時よりやや後退する傾向が見て取れる。



③ 景気の先行きの懸念材料は何ですか。

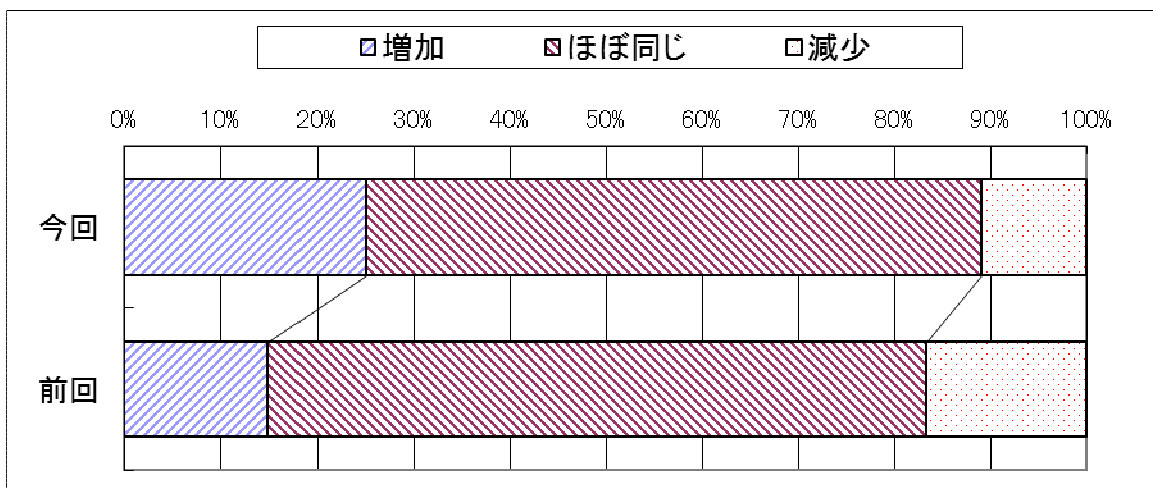
今回の調査でも、前回同様「個人消費の低迷」が 22.7%と最も高くなっており、「企業収益の低下」が 17.3%で前回比 5.3ポイント増加している。また「その他」が 7.6%と前回比 7.3ポイントの大幅増となっている。「その他」の内容としては、「円高」や「電力供給不安」「国政の低迷・不安定」といった内容が挙げられており、東日本大震災に伴う影響が市内の企業にも表れていることが推察される。



(2) 労働者数について

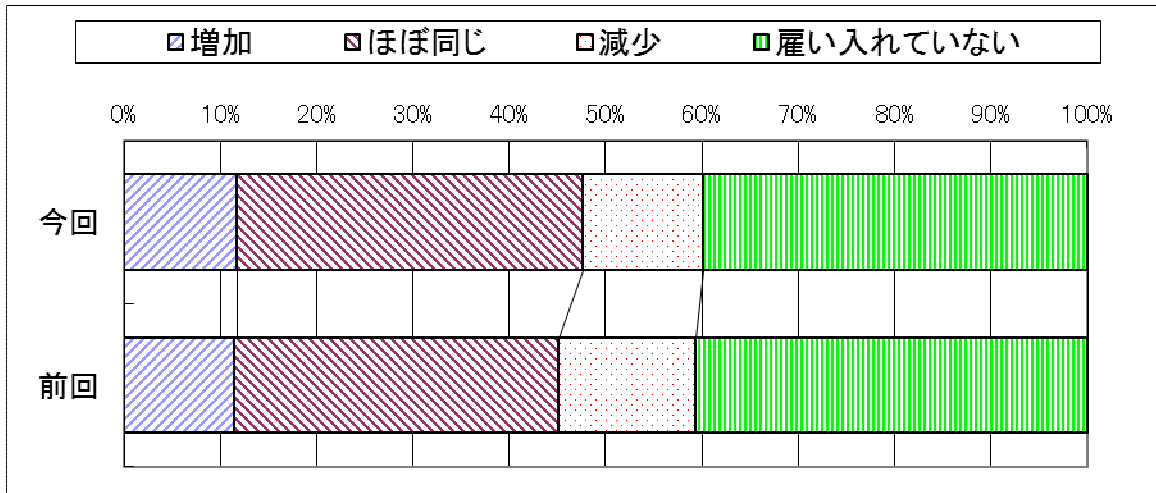
① 平成 23 年 1 月と比較して、正規雇用従業員数の変化について教えてください。

「増加」が 25.0%で前回比 10.1ポイント増え、「ほぼ同じ」が 64.1%で同 4.3ポイント減る結果となっている。



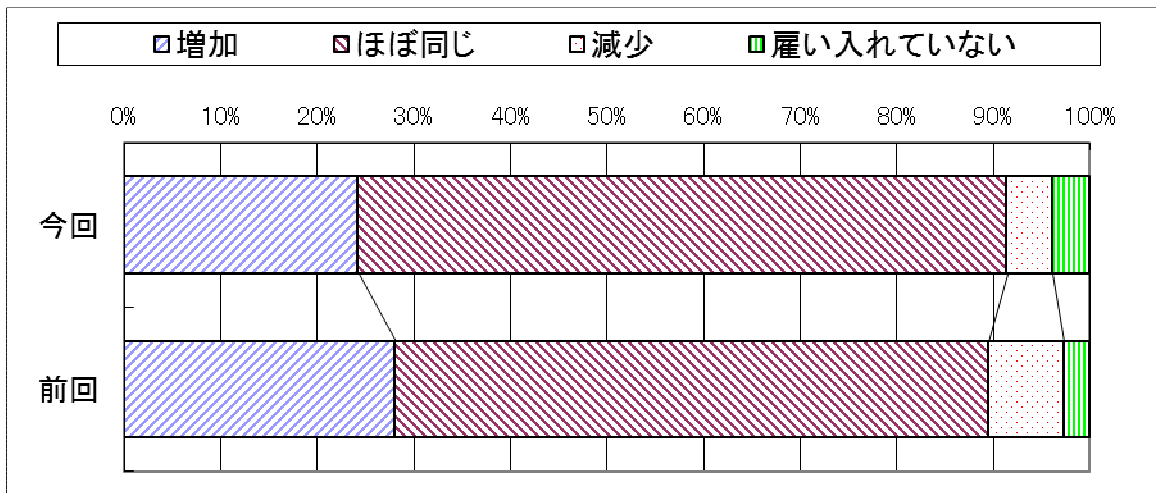
② 平成23年1月と比較して、派遣・請負・期間労働者数の変化について教えてください。

「増加」が11.7%で前回比0.2ポイント増加しており、「ほぼ同じ」が35.9%で同2.3ポイント増える結果になっている。



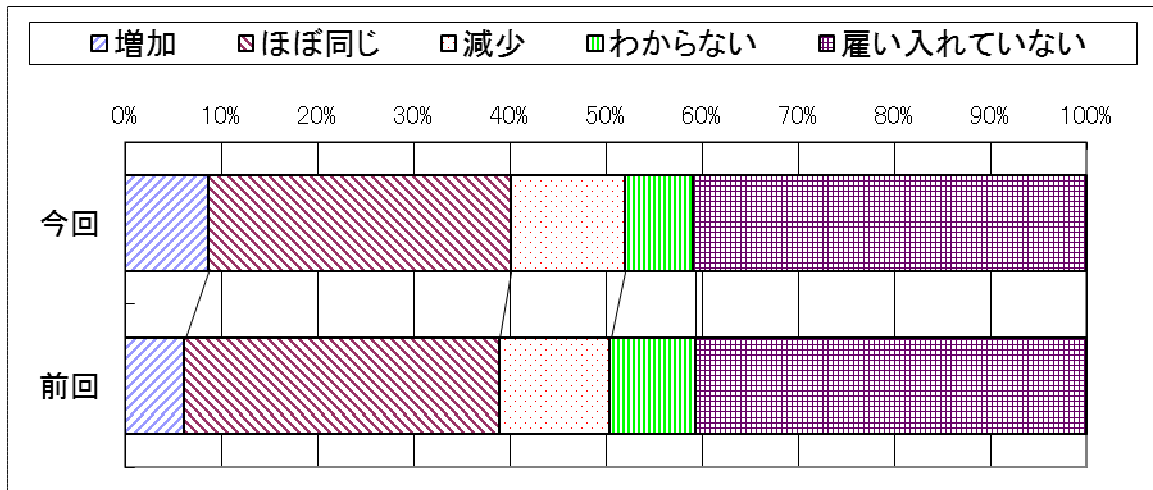
③ 今後の正規雇用従業員数の見通しについて教えてください。

今回の調査では、「増加」が24.2%で前回比3.9ポイントの減となる一方、「ほぼ同じ」が67.2%と同5.8ポイントの増となっており、同等程度の雇用が確保されていくものと推察する。



④ 今後の派遣・請負・期間労働者数の見通しについて教えてください。

今回の調査では、「増加」が 8.7%、「ほぼ同じ」が 31.5%と前回比 1.3 ポイントの増加で、「減少」が 11.8%と同 0.3 ポイント増加している。

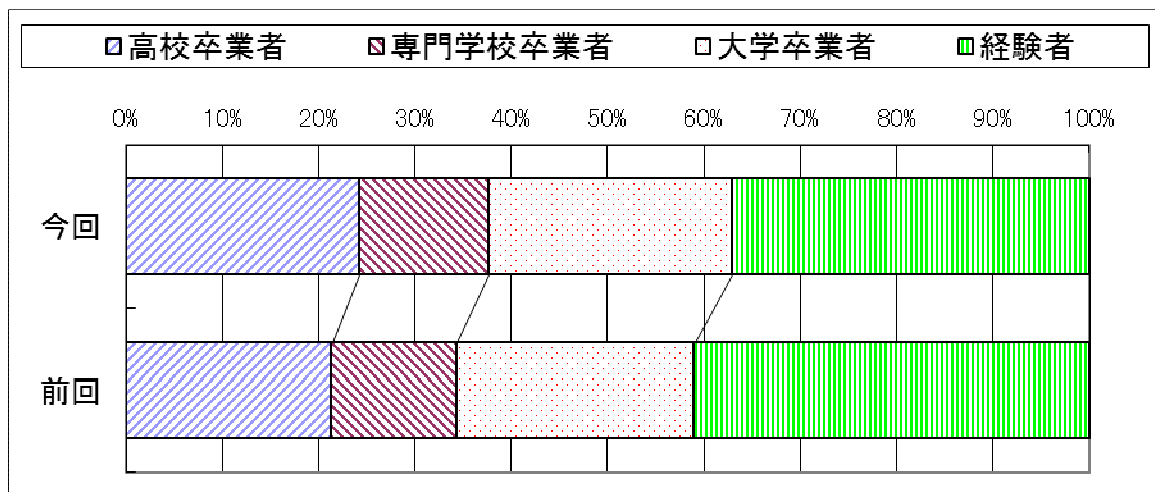


⑤ 人材確保に関して、採用対象及び職種について教えてください。

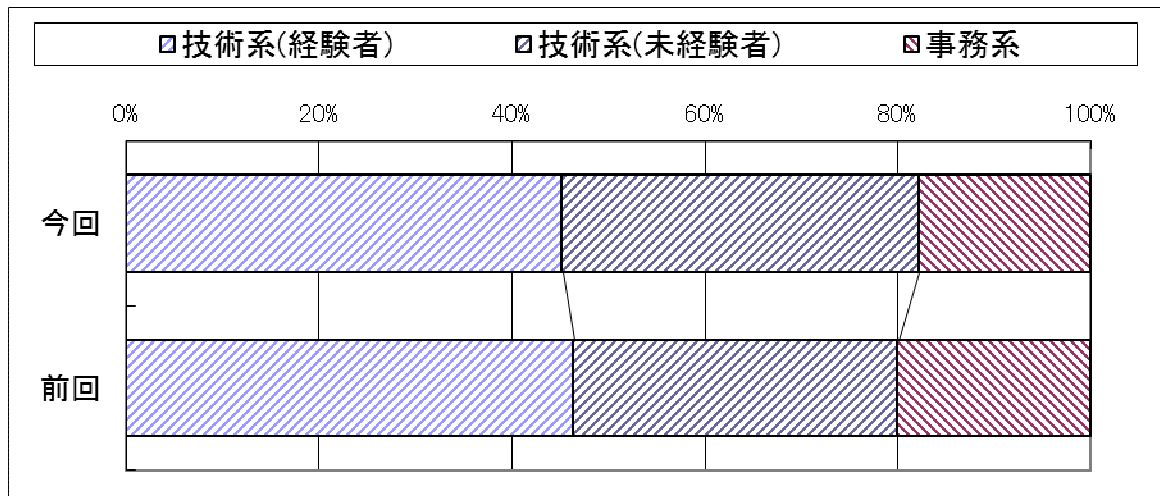
採用対象は、「経験者」が 37.1%と、前回調査時同様最も多く、即戦力となる従業員の需要が求められているものと推察する。

採用職種は、「技術系」が 82.2%と、引き続き「事務系」よりも需要が高い。

【採用対象】



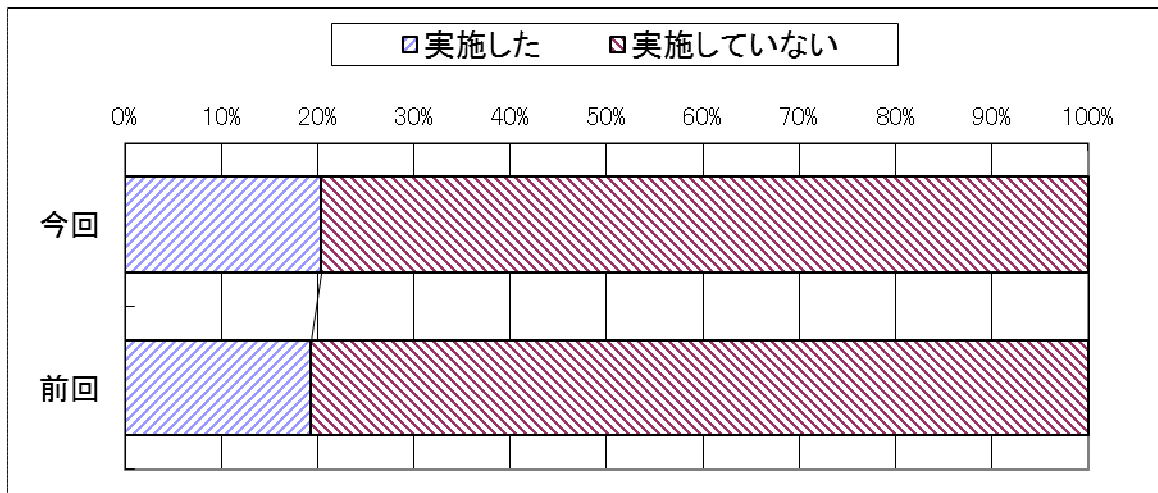
【採用職種】



(3) 雇用調整の動向について

① 平成23年1月以降の雇用調整の有無について教えてください。

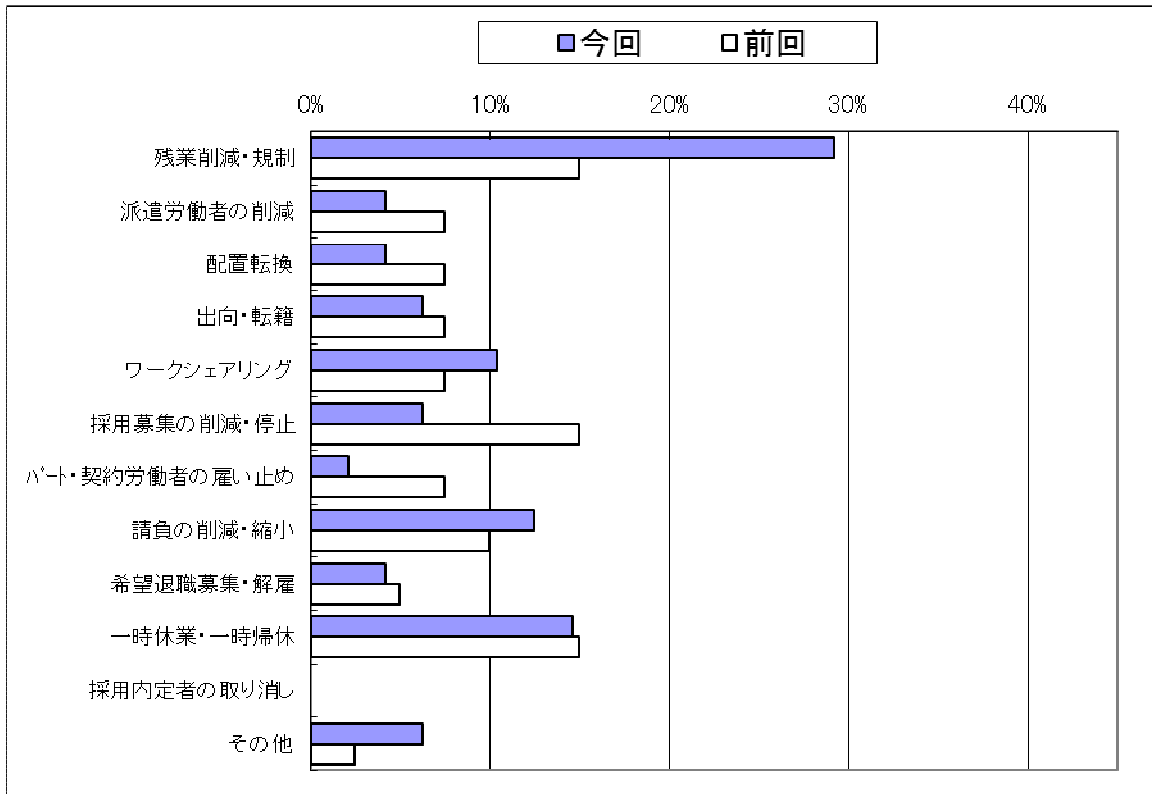
「実施した」が20.3%と、前回比1ポイント増加している。



② ①で「実施した」と回答された方にお聞きします。

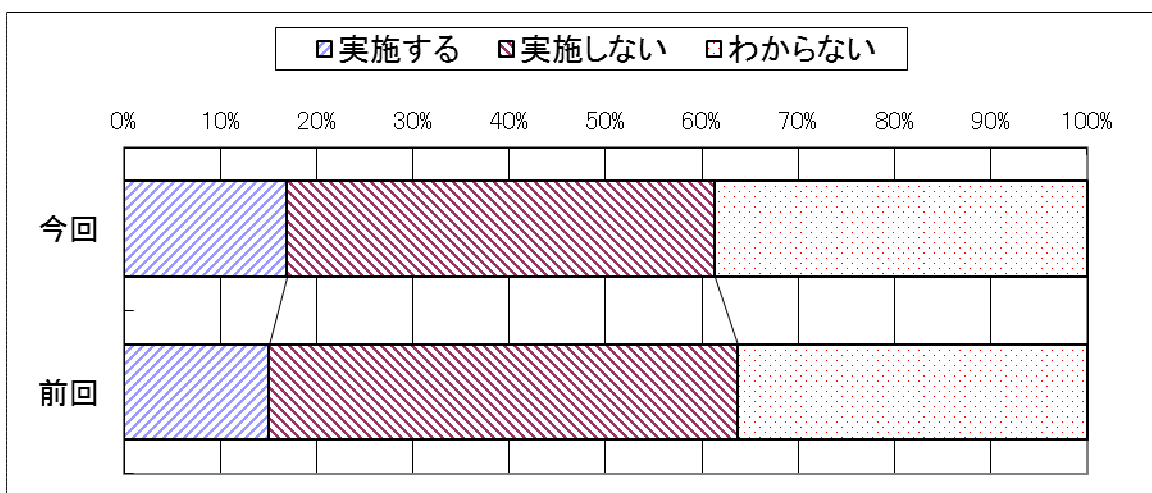
実施した雇用調整の内容として、あてはまるものに○をつけてください。

今回の調査でも、前回の調査同様「残業削減・規制」(今回 29.2%、前回 15.0%)や「一時休業・一時帰休」(今回 14.6%、前回 15.0%)の実施が多くなっている。



③ 今後の雇用調整の実施についてお教えてください。

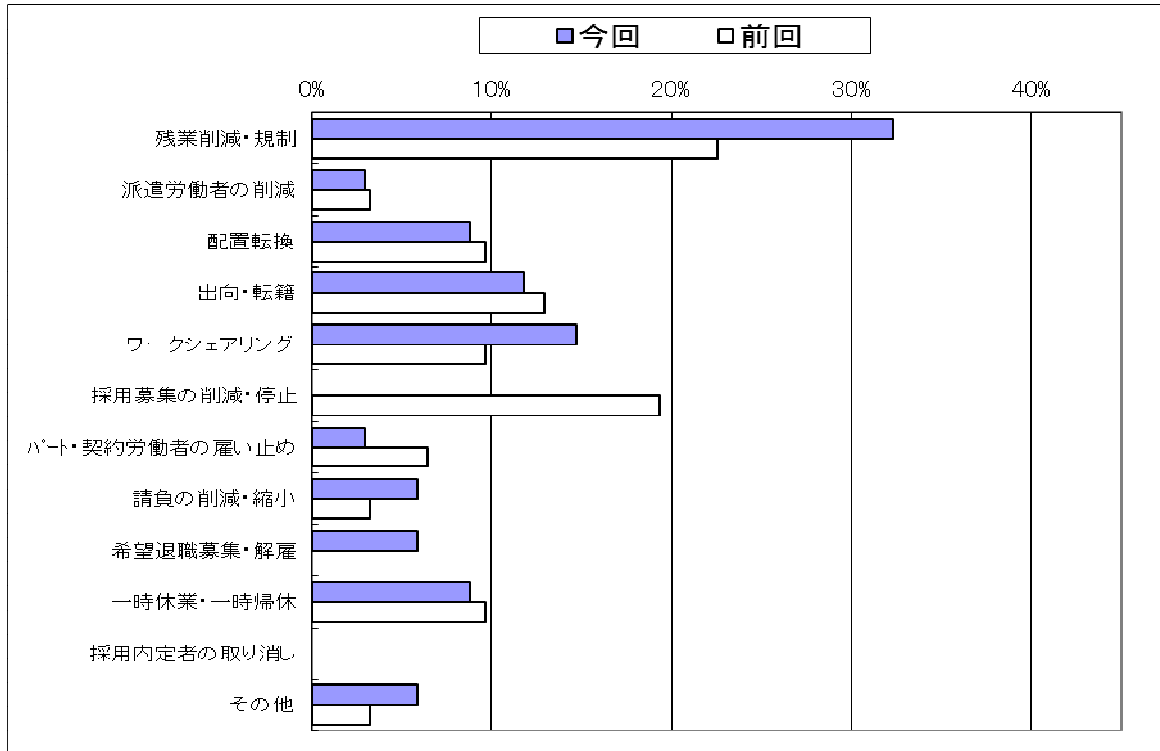
今回の調査では、「実施する」が 16.9%で前回比 1.9ポイント増加しているが、「わからない」が 38.7%と同 2.4ポイント増加しており、不透明な状態であると推察される。



④ ③で「実施する」と回答された方にお聞きします。

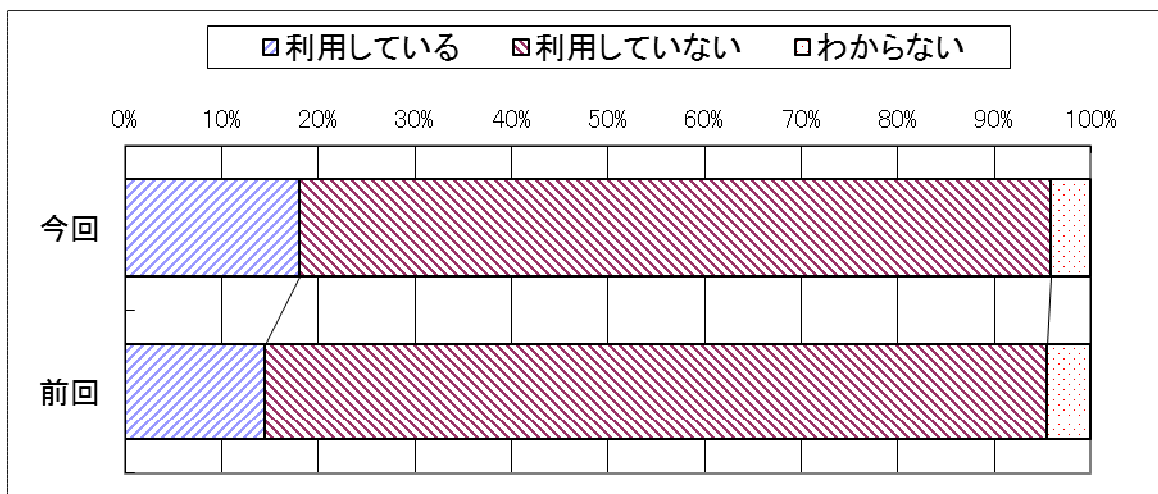
実施する雇用調整の内容として、あてはまるものに○をつけてください。

今回の調査では、「採用募集の削減・停止」が皆減している一方、前回なかった「希望退職募集・解雇」が5.9%となっている。また、内訳としては前回同様「残業削減・規制」（今回32.4%、前回22.6%）の実施が多くなっている。



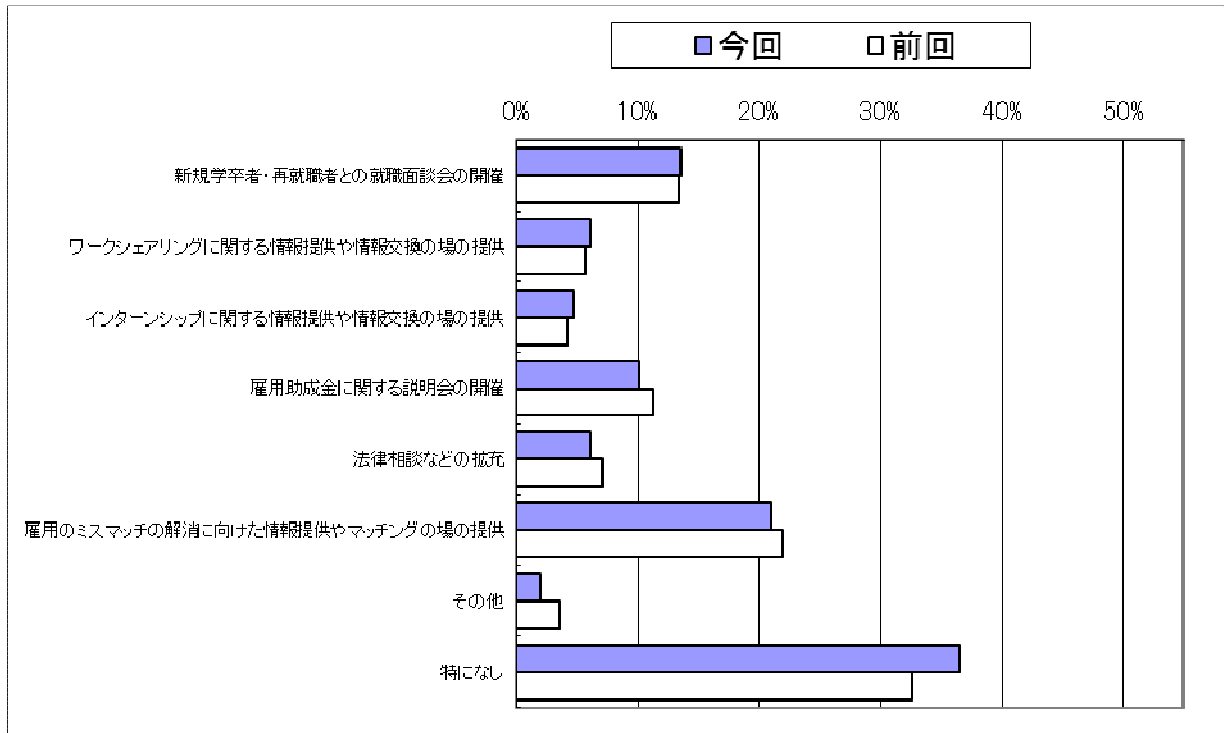
⑤ 国の雇用に関する助成制度（雇用調整助成金、中小企業緊急雇用安定助成金など）の利用状況についてお教えてください。

今回の調査では、「利用している」が18.0%と、前回比3.6ポイント増加しているが、助成制度活用は平成21年7月の29.0%をピークに減少してきている。



⑤ 雇用に関して行政等に期待されることは何ですか。

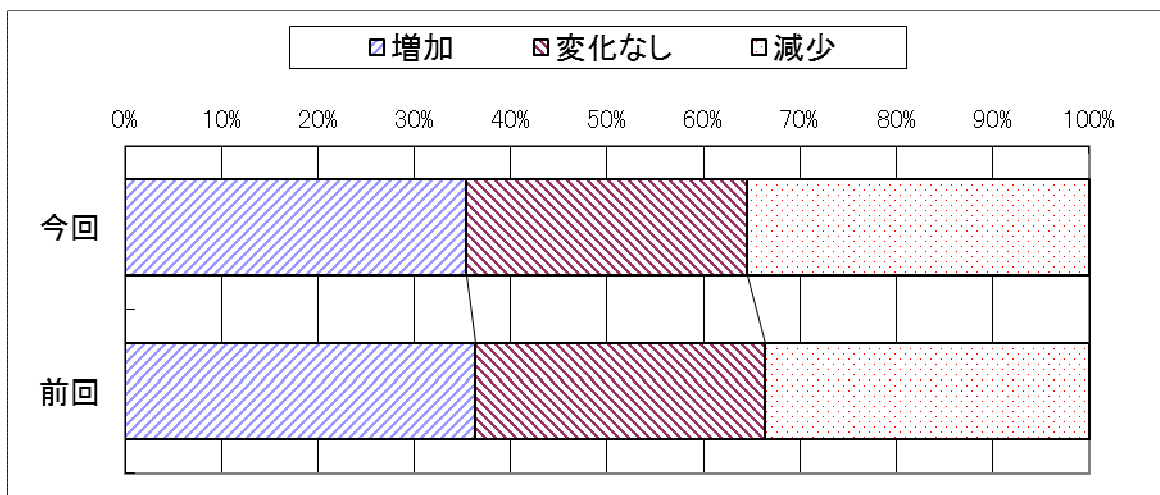
「雇用のミスマッチの解消に向けた情報提供やマッチングの場の提供」が20.9%と最も多くなっており、様々な面での複合的な雇用支援が必要とされていると見られる。



(4) 経営状況について

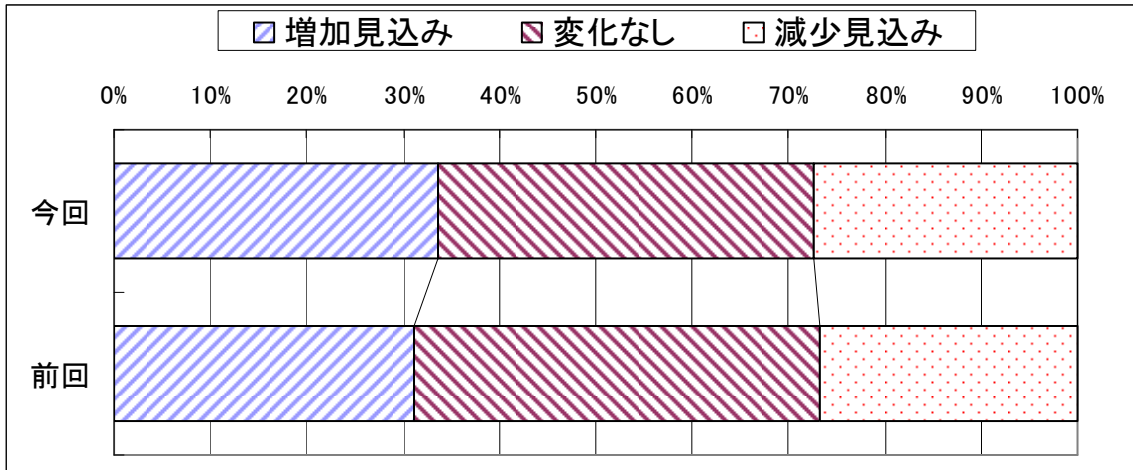
① 売上高・受注高について、平成23年7月現在は前年同時期に比べてどのような状況ですか。

今回の調査では、「増加」が35.4%と、前回比0.9ポイント減少している一方、「減少」は35.4%と前回比1.8ポイント増加している。



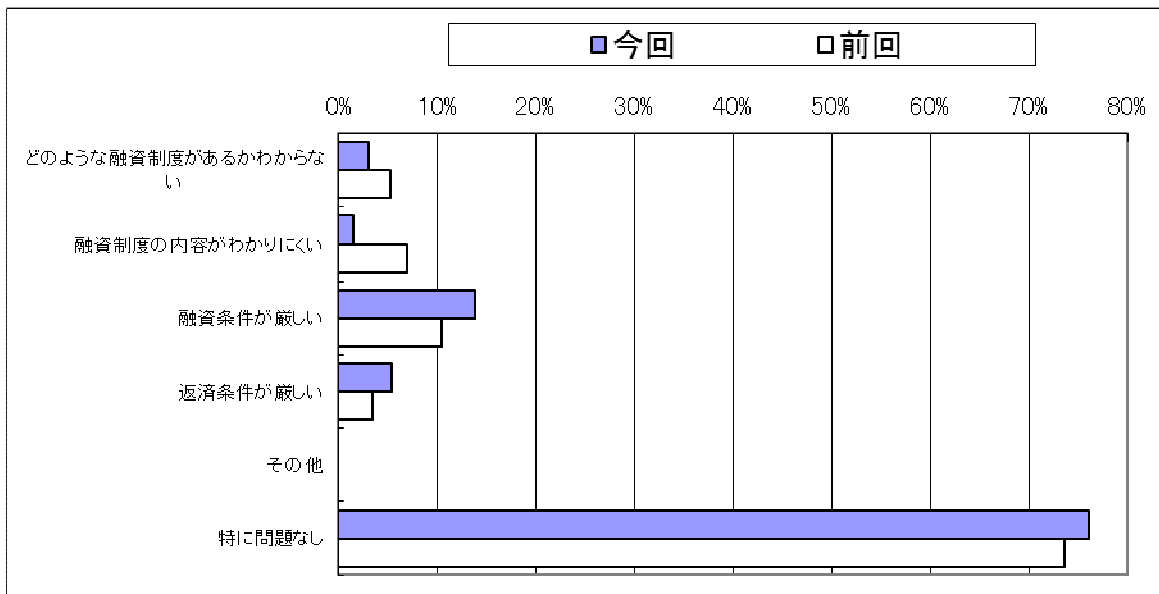
② 売上高・受注高について、今後の見通しはどのようにお考えですか。

今回の調査では、「増加見込み」が 34.6%と、前回比 1 ポイント増加しており、「減少見込み」が 29.9%と同 2.5 ポイント増加している。



② 資金繰りにおいて、公的又は金融機関の融資制度を利用する際の問題点を選んでください。

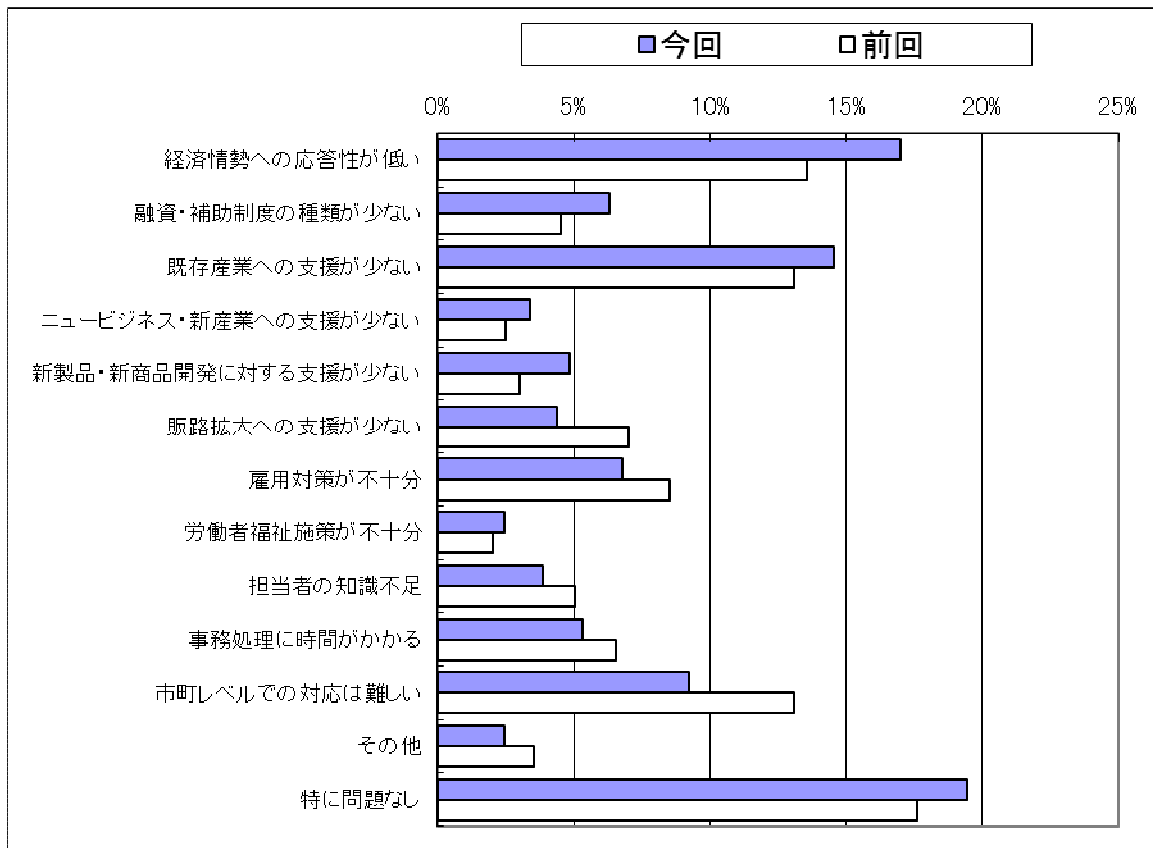
「融資条件が厳しい」が 13.8%で最も多くなっており、全体的には前回調査時と概ね同様の結果となっている。



(5) 課題・問題点等

① 行政の商工業施策で、問題と感ずることはありますか。

「経済情勢への応答性が低い」が 17.0%、「既存産業への支援が少ない」が 14.6%と、上位項目は前回調査時と同様の結果となっており、下位項目中では「新製品・新商品開発に対する支援が少ない」や「融資・補助制度の種類が少ない」の割合が前回調査時に比べ大きくなっている。



② 行政の中小企業振興対策（金融・経営安定化対策、新産業支援、商業・サービス業振興など）や雇用対策（雇用の安定確保など）等について意見や要望事項がありましたら、ご記入ください。

○市の公的活動が昔よりも見えにくい。老人・子供対象は多いが商業ベースでの動きが見えない。

○行政の中小企業振興対策をやっている感は全く感じない。特に行政がらみだと逆にボランティア的に利用されてしまうことの方が多い。（業種的にビジネスと認めていただけてない・・・）

○設備投資のための補助金制度

○雇用のミスマッチが発生するくらい民間企業の業務内容が理解していない

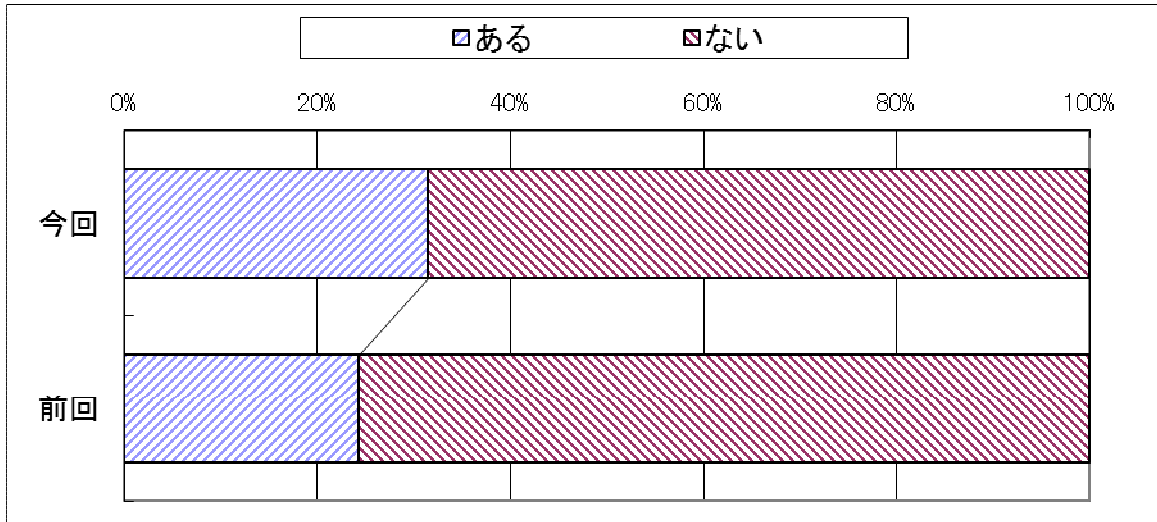
○政治の安定、政策の一貫性

○「江・浅井三姉妹」博覧会終了以降、来年の観光客の誘致対策。

○希望する人材がなかなか入ってくれない。沢山遊んでいると聞いているのに・・・。

② 他分野への事業展開についてのお考えやご興味はありますか。

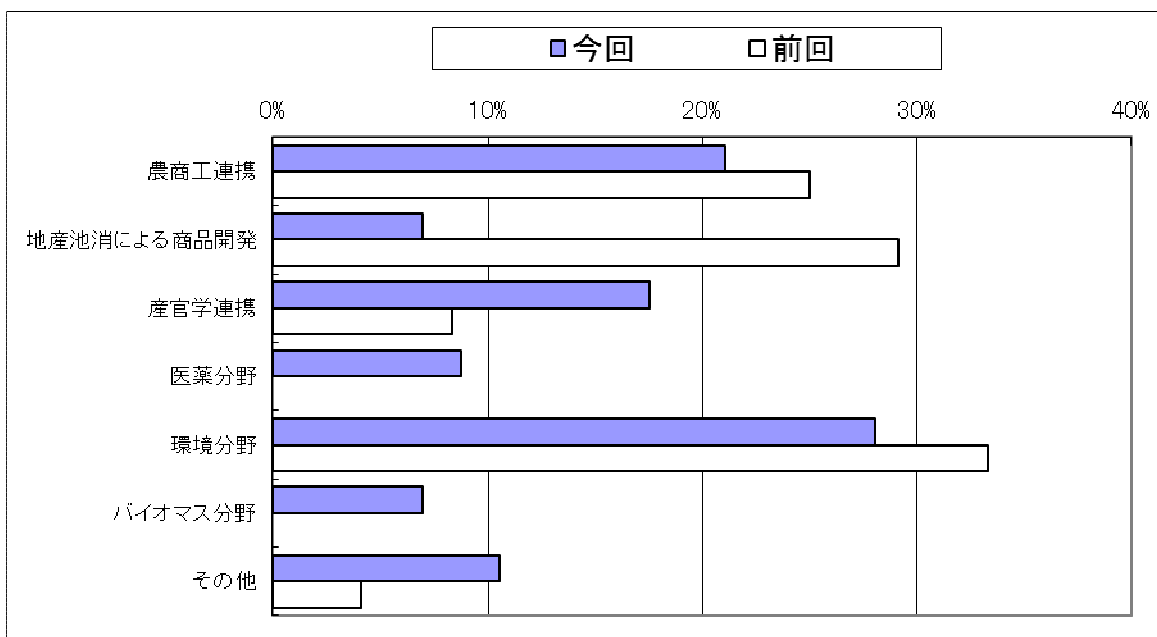
「ある」が31.4%と、前回比7.1ポイント上昇しており、約3割の企業が興味を持っている。



④ ③で「ある」と回答された方にお聞きします。

どのような分野への事業展開又は興味をお持ちですか。

「環境分野」が28.1%で前回同様に最も多い結果となった。また、前回に比べ、「地産地消による商品開発」は7.0%で、前回比22.2ポイントの大幅な減少となっている一方、「産官学連携」が17.5%と高い比率となっており、また「医薬分野」と「バイオマス分野」に対する興味が高まっている。



⑥ 事業展開を行うにあたり、行政に対する要望等がありましたら、ご記入ください。

- 支援窓口PRが無い or 見えない!!
- 高齢者への健康に対する助成金の支給
- 今回の電力供給不安のようなインフラ問題に関しては、指導力を発揮すべく努力してほしい。
- 専門的なアドバイスを受ける為の相談窓口など「PR」してもらって相談したい。

(6) 業種別項目

- ① 経営に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ② 資金に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ③ 雇用に関する今期及び来期の状況についてお教えてください。
- ④ 現在直面している経営上の問題点を下記から重要度の高い順に3つまで選んで、該当する番号を回答欄にご記入ください。

【製造業】

前回調査時には、生産状況、売上状況ともに増加傾向がみられたが、今回の調査ではともに減少傾向となっており、東日本大震災に起因する受注減等が要因となっているとみられる。今後の見通しについても、原材料価格の上昇や、製品単価の低下・上昇難、需要の停滞などが原因として、採算状況に不安定な部分が見られる。

雇用については、正規労働者に増加傾向が見られていたが、今期、来期とも減少する見通しとなっている。

【建設業】

前回調査時には一部企業で完成工事に増加が見られたが、今回の調査では完成工事状況及び受注状況ともに減少傾向にあり、建設業界全体を取り巻く環境は依然厳しいものとなっている。

このような状況であるため、雇用についても、増加傾向の見通しは見られず、減少傾向あるいは現状で推移していくものと推察する。

【卸売業】

今回の調査では、売上額について、今期、来期ともに減少の傾向を示している。また、売上単価の低下や商品仕入単価の上昇などにより、採算状況にも悪化の傾向が見られる。

このような状況であるが、雇用については減少傾向は見られず、現状で推移していくものと推察する。

【小売業】

前回調査時には、客数の減少と客単価の低下に伴い売上額が減少していたが、今回の調査では、やや客単価の低下が見られるものの売上額は上昇しており、採算状況の好転が見られる。

雇用については、来期を含めて正規労働者、臨時・パートともに増加傾向が見られ、新規採用を含め雇用環境に明るさが見られる。

【サービス業】

前回の調査時には、利用客数の減少や客単価の低下により売上が減少、採算状況が悪化していたが、今回の調査では、一部企業において売上、採算状況ともに回復傾向にある。一方で、来期の見通しにおいては「需要の停滞」や「先行き不透明感」から、売上状況、客単価、利用客数とも減少傾向であり、厳しいものとなっている。

雇用については、今期、来期とも減少する見通しである。

【運輸・通信・倉庫業】

今回の調査においても製造業の影響を受け、売上は減少傾向にあり、引き合いについても低調に推移している。来期についても、好転する見通しが見えず、横ばいの状態になるとの見通しである。

雇用については若干の減少傾向が見られるものの、現状で推移していくものと推察される。

【料理・飲食・旅館業】

前回調査時には、来期は客単価は低調なもの利用客数の増加により採算状況は上向き見通しとしていたが、今回の調査では、ともに減少傾向となっている。来期においても、利用客数は増加の見通しとなっているが、客単価及び採算状況において悪化の見通しとなっている。

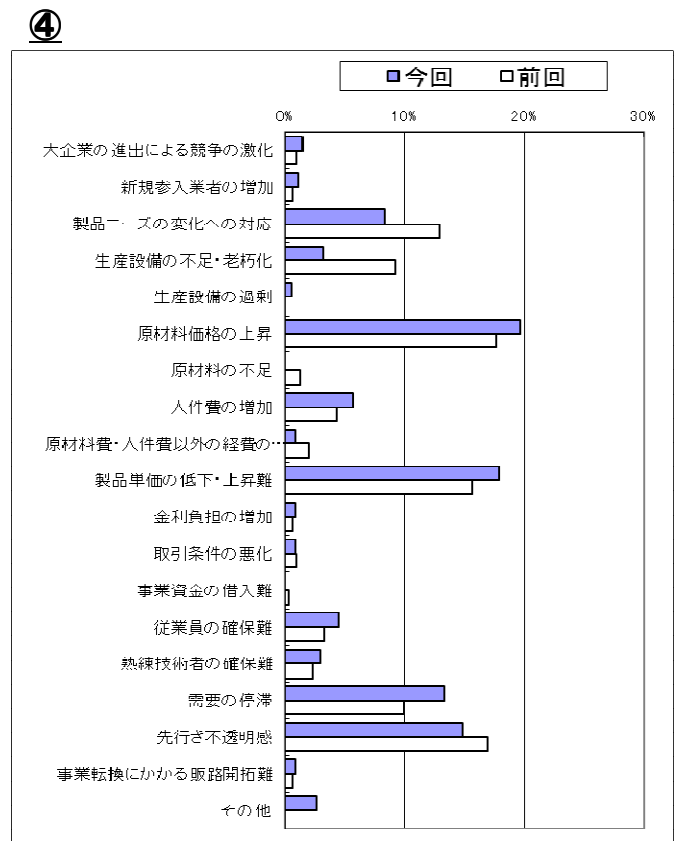
雇用については、今期は正社員、臨時・パートともに増加傾向となっているが、来期はともに若干減少する見通しとなっている。

【製造業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
生産(加工)状況	1.増加	32.2%	29.0%	26.8%	45.5%
	2.不変	48.4%	38.7%	48.2%	38.2%
	3.減少	19.4%	32.3%	25.0%	16.4%
売上状況	1.増加	30.6%	29.0%	26.8%	43.9%
	2.不変	43.6%	35.5%	42.9%	36.8%
	3.減少	25.8%	35.5%	30.4%	19.3%
採算状況(経常利益)	1.好転	27.4%	21.0%	16.1%	35.1%
	2.不変	46.8%	40.3%	48.2%	43.9%
	3.悪化	25.8%	38.7%	35.7%	21.1%
原材料仕入単価	1.上昇	41.9%	60.0%	43.6%	53.6%
	2.不変	56.5%	36.7%	54.5%	42.9%
	3.低下	1.6%	3.3%	1.8%	3.6%
原材料在庫数量	1.増加	4.9%	20.0%	7.3%	8.9%
	2.不変	78.7%	66.7%	89.1%	78.6%
	3.減少	16.4%	13.3%	3.6%	12.5%
製品在庫数量	1.増加	8.2%	19.7%	3.7%	10.9%
	2.不変	78.7%	72.1%	88.9%	78.2%
	3.減少	13.1%	8.2%	7.4%	10.9%
設備操業率	1.上昇	27.4%	22.6%	16.4%	23.2%
	2.不変	53.2%	43.5%	65.5%	64.3%
	3.低下	19.4%	33.9%	18.2%	12.5%
引合(取引についての問い合わせ状況)	1.活発	11.3%	14.5%	5.5%	21.4%
	2.普通	67.7%	64.5%	76.4%	66.1%
	3.低調	21.0%	21.0%	18.2%	12.5%
設備投資水準	1.高い	6.5%	6.6%	7.3%	10.7%
	2.不変	73.8%	70.4%	67.3%	58.9%
	3.低い	19.7%	23.0%	25.5%	30.4%
業況(自社)	1.好転	25.8%	20.9%	14.5%	23.2%
	2.不変	53.2%	45.2%	52.7%	57.1%
	3.悪化	21.0%	33.9%	32.7%	19.6%

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	12.9%	6.6%	8.8%	14.0%
	2.不変	79.0%	83.6%	84.2%	80.7%
	3.悪化	8.1%	9.8%	7.0%	5.3%
受取手形期間	1.長期化	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%
	2.不変	80.4%	82.3%	86.5%	87.0%
	3.短期化	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	16.4%	16.1%	13.5%	13.0%
長期資金借入難易度	1.容易	19.7%	21.0%	16.1%	19.6%
	2.不変	80.3%	79.0%	82.1%	78.6%
	3.困難	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
短期資金借入難易度	1.容易	16.4%	17.7%	16.1%	19.6%
	2.不変	82.0%	80.7%	82.1%	78.6%
	3.困難	1.6%	1.6%	1.8%	1.8%
借入金利	1.上昇	1.7%	1.6%	5.5%	1.8%
	2.不変	91.6%	93.5%	89.1%	83.6%
	3.低下	6.7%	4.9%	5.5%	14.5%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移(正社員)	1.増加	14.3%	25.4%	35.1%	22.8%
	2.不変	79.4%	60.3%	59.6%	66.7%
	3.減少	6.3%	14.3%	5.3%	10.5%
従業員の推移(臨時・パート)	1.増加	9.7%	6.5%	16.4%	16.4%
	2.不変	83.9%	77.4%	78.2%	78.2%
	3.減少	6.4%	16.1%	5.5%	5.5%
従業員の推移(派遣)	1.増加	7.7%	5.7%	10.0%	6.1%
	2.不変	75.0%	69.8%	76.0%	71.4%
	3.減少	17.3%	24.5%	14.0%	22.4%
求人数の推移	1.増加	16.4%	22.9%	16.7%	17.0%
	2.不変	72.1%	68.9%	77.8%	77.4%
	3.減少	11.5%	8.2%	5.6%	5.7%
新規採用者数の推移	1.増加	13.6%	25.0%	20.4%	13.2%
	2.不変	69.5%	66.7%	75.9%	81.1%
	3.減少	16.9%	8.3%	3.7%	5.7%
うち新規高卒採用者数の推移	1.増加	8.9%	16.1%	16.7%	3.8%
	2.不変	76.8%	75.0%	77.8%	86.8%
	3.減少	14.3%	8.9%	5.6%	9.4%
中途採用者数の推移	1.増加	13.1%	15.0%	14.8%	13.0%
	2.不変	75.4%	73.3%	81.5%	81.5%
	3.減少	11.5%	11.7%	3.7%	5.6%
雇用と求人とのミスマッチ状況	1.縮小	3.4%	3.4%	5.9%	2.0%
	2.不変	91.5%	88.1%	84.3%	90.0%
	3.拡大	5.1%	8.5%	9.8%	8.0%

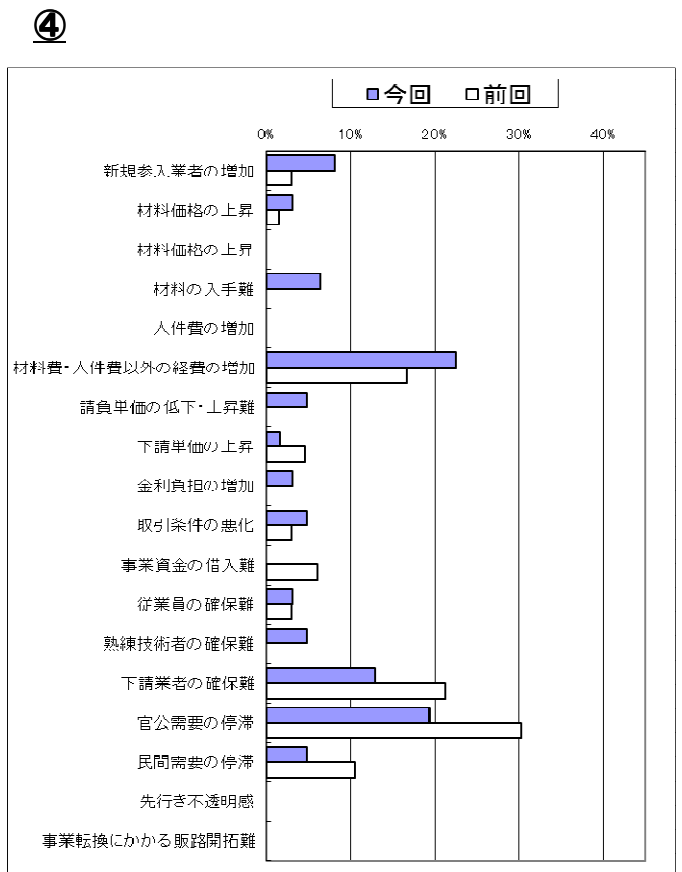


【建設業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
完成(請負)工事状況	1.増加	16.7%	33.3%	10.0%	27.3%
	2.不変	50.0%	16.7%	40.0%	45.5%
	3.減少	33.3%	50.0%	50.0%	27.3%
受注(新規契約工事)状況	1.増加	8.3%	16.7%	20.0%	27.3%
	2.不変	58.3%	25.0%	20.0%	36.4%
	3.減少	33.3%	58.3%	60.0%	36.4%
材料仕入単価	1.上昇	50.0%	58.4%	18.2%	10.0%
	2.不変	50.0%	33.3%	81.8%	90.0%
	3.低下	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
採算状況(経常利益)	1.好転	9.1%	10.0%	9.1%	18.2%
	2.不変	54.5%	30.0%	36.4%	45.5%
	3.悪化	36.4%	60.0%	54.5%	36.4%
引合(取引についての問い合わせ状況)	1.活発	0.0%	8.3%	9.1%	9.1%
	2.普通	58.3%	41.7%	54.5%	54.5%
	3.低調	41.7%	50.0%	36.4%	36.4%
契約残(未消化工事高)	1.増加	8.3%	16.7%	0.0%	18.2%
	2.不変	58.4%	33.3%	60.0%	45.5%
	3.減少	33.3%	50.0%	40.0%	36.4%
設備投資水準	1.高い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	58.3%	50.0%	50.0%	50.0%
	3.低い	41.7%	50.0%	50.0%	50.0%
業況(自社)	1.好転	8.3%	16.7%	18.2%	18.2%
	2.不変	58.4%	25.0%	45.5%	54.5%
	3.悪化	33.3%	58.3%	36.4%	27.3%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移(正社員)	1.増加	0.0%	8.3%	27.3%	0.0%
	2.不変	90.9%	66.7%	72.7%	63.6%
	3.減少	9.1%	25.0%	0.0%	36.4%
従業員の推移(臨時・パート)	1.増加	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	2.不変	100.0%	80.0%	87.5%	75.0%
	3.減少	0.0%	20.0%	0.0%	12.5%
従業員の推移(派遣)	1.増加	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	2.不変	88.9%	90.0%	80.0%	100.0%
	3.減少	11.1%	10.0%	0.0%	0.0%
求人数の推移	1.増加	20.0%	9.1%	10.0%	0.0%
	2.不変	60.0%	54.5%	80.0%	90.0%
	3.減少	20.0%	36.4%	10.0%	10.0%
新規採用者数の推移	1.増加	10.0%	9.1%	22.2%	11.1%
	2.不変	80.0%	63.6%	66.7%	77.8%
	3.減少	10.0%	27.3%	11.1%	11.1%
うち新規高卒採用者数の推移	1.増加	11.1%	0.0%	12.5%	12.5%
	2.不変	77.8%	60.0%	75.0%	75.0%
	3.減少	11.1%	40.0%	12.5%	12.5%
中途採用者数の推移	1.増加	10.0%	0.0%	10.0%	9.1%
	2.不変	80.0%	80.0%	70.0%	81.8%
	3.減少	10.0%	20.0%	20.0%	9.1%
雇用と求人とのミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	77.8%	66.7%	88.9%	88.9%
	3.拡大	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
	2.不変	83.3%	83.3%	63.6%	72.7%
	3.悪化	16.7%	16.7%	27.3%	18.2%
受取手形期間	1.長期化	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
	2.不変	72.7%	80.0%	72.7%	63.6%
	3.短期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	27.3%	20.0%	18.2%	27.3%
長期資金借入難易度	1.容易	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	91.7%	83.4%	72.7%	81.8%
	3.困難	8.3%	8.3%	27.3%	18.2%
短期資金借入難易度	1.容易	0.0%	8.3%	9.1%	9.1%
	2.不変	91.7%	83.4%	63.6%	72.7%
	3.困難	8.3%	8.3%	27.3%	18.2%
借入金利	1.上昇	9.1%	27.3%	18.2%	9.1%
	2.不変	81.8%	72.7%	81.8%	90.9%
	3.低下	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%



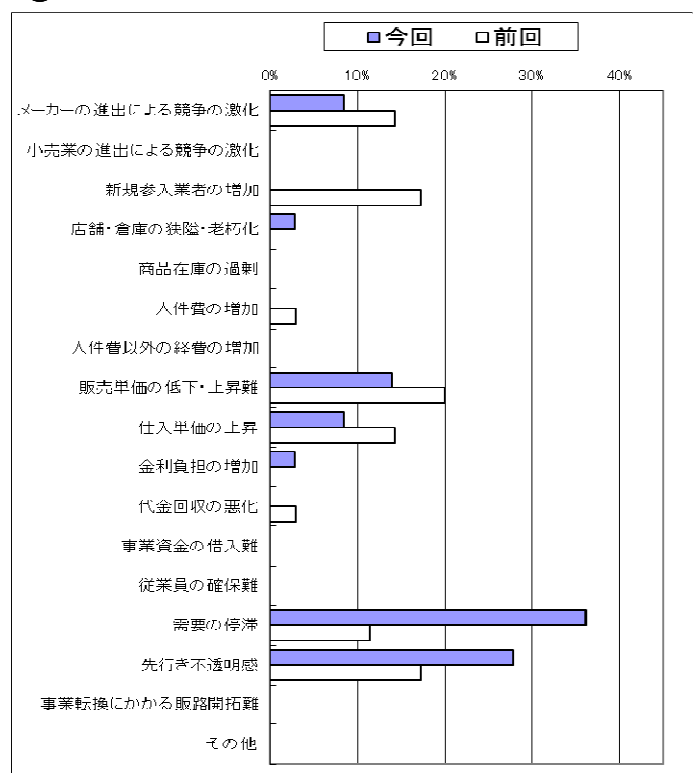
【卸売業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
売上額	1.増加	0.0%	40.0%	40.0%	50.0%
	2.不変	60.0%	0.0%	60.0%	33.3%
	3.減少	40.0%	60.0%	0.0%	16.7%
売上単価	1.上昇	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	2.不変	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%
	3.低下	40.0%	40.0%	40.0%	50.0%
商品仕入単価	1.上昇	60.0%	60.0%	60.0%	33.3%
	2.不変	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%
	3.低下	0.0%	20.0%	0.0%	16.7%
商品仕入数量	1.増加	0.0%	40.0%	40.0%	33.3%
	2.不変	60.0%	40.0%	60.0%	50.0%
	3.減少	40.0%	20.0%	0.0%	16.7%
商品在庫数量	1.増加	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	80.0%	60.0%	80.0%	50.0%
	3.減少	20.0%	0.0%	20.0%	50.0%
採算状況(経常利益)	1.好転	0.0%	40.0%	0.0%	16.7%
	2.不変	40.0%	20.0%	100.0%	66.7%
	3.悪化	60.0%	40.0%	0.0%	16.7%
引合(取引についての問い合わせ状況)	1.活発	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.普通	60.0%	60.0%	100.0%	83.3%
	3.低調	40.0%	40.0%	0.0%	16.7%
設備投資水準	1.高い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	40.0%	40.0%	80.0%	50.0%
	3.低い	60.0%	60.0%	20.0%	50.0%
業況(自社)	1.好転	0.0%	20.0%	20.0%	16.7%
	2.不変	40.0%	20.0%	80.0%	66.7%
	3.悪化	60.0%	60.0%	0.0%	16.7%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移(正社員)	1.増加	16.7%	16.7%	40.0%	0.0%
	2.不変	83.3%	66.6%	60.0%	83.3%
	3.減少	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
従業員の推移(臨時・パート)	1.増加	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	75.0%	80.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
従業員の推移(派遣)	1.増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求人数の推移	1.増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
新規採用者数の推移	1.増加	25.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	2.不変	75.0%	100.0%	80.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
うち新規高卒採用者数の推移	1.増加	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中途採用者数の推移	1.増加	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雇用と求人のミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%
	3.拡大	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3.悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
受取手形期間	1.長期化	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	100.0%	60.0%	83.3%
	3.短期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	0.0%	0.0%	20.0%	16.7%
長期資金借入難易度	1.容易	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	2.不変	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%
	3.困難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
短期資金借入難易度	1.容易	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	2.不変	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
	3.困難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
借入金利	1.上昇	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	80.0%	80.0%	83.3%
	3.低下	0.0%	20.0%	20.0%	16.7%

④



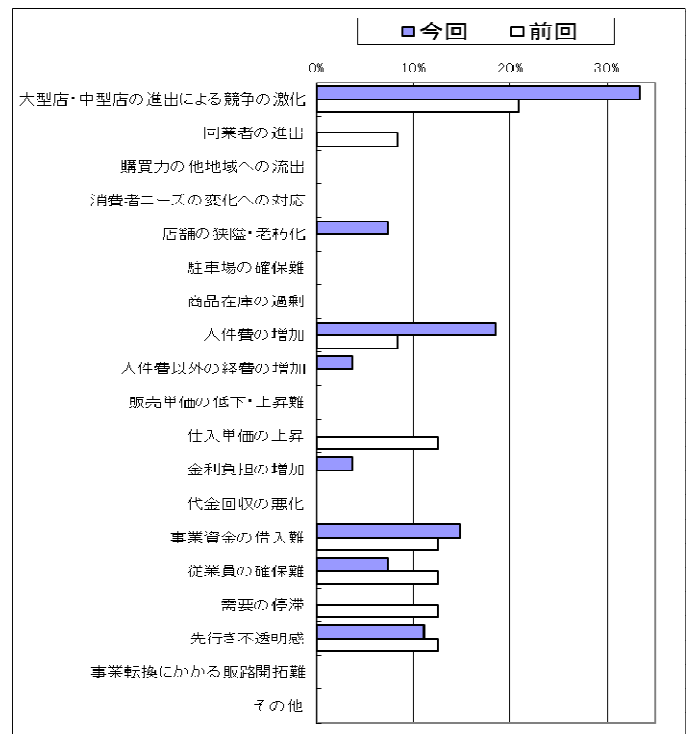
【小売業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
売上額	1.増加	42.8%	42.9%	40.0%	20.0%
	2.不変	28.6%	14.2%	40.0%	40.0%
	3.減少	28.6%	42.9%	20.0%	40.0%
客単価	1.上昇	14.3%	28.6%	0.0%	20.0%
	2.不変	57.1%	14.3%	60.0%	40.0%
	3.低下	28.6%	57.1%	40.0%	40.0%
客数	1.増加	28.6%	42.9%	20.0%	20.0%
	2.不変	42.8%	14.2%	60.0%	40.0%
	3.減少	28.6%	42.9%	20.0%	40.0%
商品仕入 単価	1.上昇	28.6%	28.6%	20.0%	20.0%
	2.不変	28.6%	28.6%	80.0%	60.0%
	3.低下	42.8%	42.8%	0.0%	20.0%
商品仕入額	1.増加	42.8%	57.1%	20.0%	20.0%
	2.不変	28.6%	14.3%	40.0%	40.0%
	3.減少	28.6%	28.6%	40.0%	40.0%
商品在庫 数量	1.増加	14.3%	0.0%	0.0%	20.0%
	2.不変	71.4%	71.4%	80.0%	40.0%
	3.減少	14.3%	28.6%	20.0%	40.0%
採算状況 (経常利益)	1.好転	28.6%	42.8%	20.0%	40.0%
	2.不変	42.8%	28.6%	60.0%	40.0%
	3.悪化	28.6%	28.6%	20.0%	20.0%
設備投資 水準	1.高い	28.6%	14.3%	20.0%	40.0%
	2.不変	14.3%	28.6%	60.0%	20.0%
	3.低い	57.1%	57.1%	20.0%	40.0%
業況(自社)	1.好転	28.6%	42.9%	20.0%	20.0%
	2.不変	42.8%	42.9%	80.0%	60.0%
	3.悪化	28.6%	14.2%	0.0%	20.0%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移 (正社員)	1.増加	28.6%	42.9%	60.0%	20.0%
	2.不変	71.4%	42.9%	40.0%	80.0%
	3.減少	0.0%	14.2%	0.0%	0.0%
従業員の推移 (臨時・パート)	1.増加	14.3%	14.2%	40.0%	40.0%
	2.不変	71.4%	42.9%	40.0%	40.0%
	3.減少	14.3%	42.9%	20.0%	20.0%
従業員の推移 (派遣)	1.増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%
	3.減少	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
求人数の推移	1.増加	66.7%	50.0%	20.0%	20.0%
	2.不変	33.3%	33.3%	80.0%	80.0%
	3.減少	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
新規採用者数 の推移	1.増加	57.1%	57.1%	40.0%	20.0%
	2.不変	28.6%	28.6%	60.0%	80.0%
	3.減少	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
うち新規高卒採 用者数の推移	1.増加	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	60.0%	40.0%	100.0%	100.0%
	3.減少	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
中途採用者数 の推移	1.増加	20.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	2.不変	60.0%	60.0%	75.0%	100.0%
	3.減少	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
雇用と求人 のミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	60.0%	60.0%	100.0%	100.0%
	3.拡大	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	2.不変	40.0%	60.0%	80.0%	80.0%
	3.悪化	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
受取手形 期間	1.長期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	3.短期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%
長期資金 借入難易 度	1.容易	50.0%	50.0%	20.0%	20.0%
	2.不変	33.3%	33.3%	40.0%	60.0%
	3.困難	16.7%	16.7%	40.0%	20.0%
短期資金 借入難易 度	1.容易	33.3%	33.3%	40.0%	40.0%
	2.不変	66.7%	66.7%	40.0%	60.0%
	3.困難	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
借入金利	1.上昇	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	2.不変	66.7%	66.7%	60.0%	60.0%
	3.低下	33.3%	33.3%	20.0%	40.0%

④

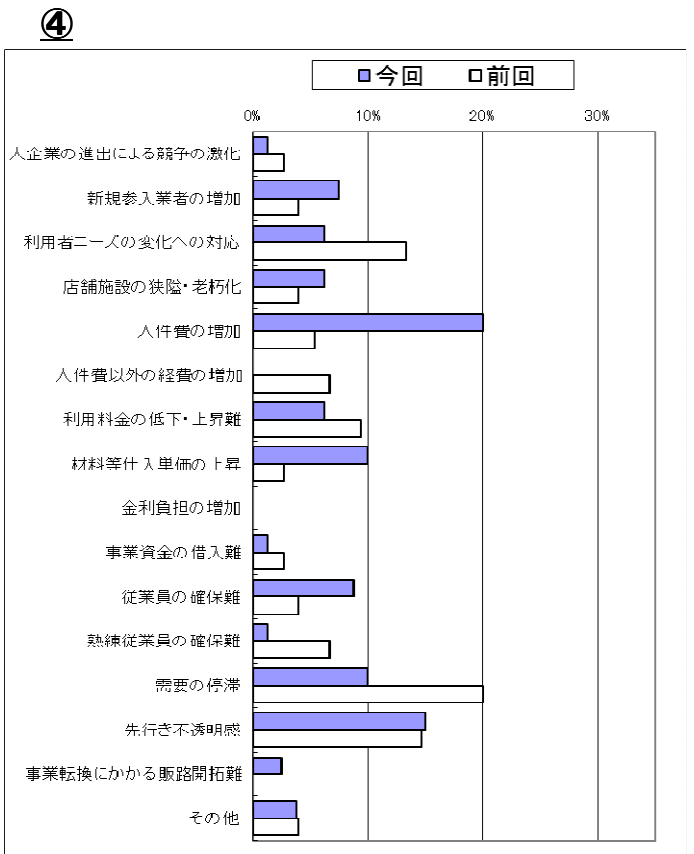


【サービス業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
売上(収入)状況	1.増加	26.7%	26.7%	7.1%	7.1%
	2.不変	33.3%	40.0%	35.7%	50.0%
	3.減少	40.0%	33.3%	57.1%	42.9%
客単価	1.上昇	7.1%	7.2%	0.0%	0.0%
	2.不変	64.3%	71.4%	38.5%	46.2%
	3.低下	28.6%	21.4%	61.5%	53.8%
利用客数	1.増加	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%
	2.不変	50.0%	50.0%	64.3%	42.9%
	3.減少	42.9%	42.9%	35.7%	50.0%
仕入単価(材料等)	1.上昇	50.0%	50.0%	33.3%	33.3%
	2.不変	35.7%	35.7%	66.7%	66.7%
	3.低下	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
採算状況(経常利益)	1.好転	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%
	2.不変	57.2%	64.3%	35.7%	35.7%
	3.悪化	35.7%	14.3%	64.3%	57.1%
設備投資水準	1.高い	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
	2.不変	64.3%	57.2%	58.3%	58.3%
	3.低い	35.7%	35.7%	41.7%	41.7%
業況(自社)	1.好転	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%
	2.不変	57.2%	71.4%	42.9%	50.0%
	3.悪化	35.7%	14.3%	57.1%	42.9%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移(正社員)	1.増加	25.0%	25.0%	12.5%	6.3%
	2.不変	50.0%	56.3%	62.5%	62.5%
	3.減少	25.0%	18.7%	25.0%	31.3%
従業員の推移(臨時・パート)	1.増加	21.4%	35.7%	23.1%	7.7%
	2.不変	64.3%	64.3%	61.5%	61.5%
	3.減少	14.3%	0.0%	15.4%	30.8%
従業員の推移(派遣)	1.増加	16.7%	16.7%	12.5%	0.0%
	2.不変	66.6%	66.6%	75.0%	87.5%
	3.減少	16.7%	16.7%	12.5%	12.5%
求人数の推移	1.増加	20.0%	20.0%	14.3%	14.3%
	2.不変	66.7%	66.7%	50.0%	57.1%
	3.減少	13.3%	13.3%	35.7%	28.6%
新規採用者数の推移	1.増加	20.0%	26.7%	7.1%	7.1%
	2.不変	60.0%	60.0%	64.3%	64.3%
	3.減少	20.0%	13.3%	28.6%	28.6%
うち新規高卒採用者数の推移	1.増加	9.1%	9.1%	9.1%	8.3%
	2.不変	81.8%	81.8%	63.6%	66.7%
	3.減少	9.1%	9.1%	27.3%	25.0%
中途採用者数の推移	1.増加	21.4%	28.6%	14.3%	20.0%
	2.不変	71.5%	64.3%	57.1%	60.0%
	3.減少	7.1%	7.1%	28.6%	20.0%
雇用と求人とのミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%
	2.不変	92.9%	92.9%	81.8%	91.7%
	3.拡大	7.1%	7.1%	0.0%	8.3%

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%
	2.不変	69.2%	84.6%	53.8%	78.6%
	3.悪化	23.1%	15.4%	30.8%	21.4%
受取手形期間	1.長期化	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
	2.不変	58.4%	50.0%	9.1%	9.1%
	3.短期化	8.3%	16.7%	9.1%	9.1%
	4.手形なし	33.3%	33.3%	72.7%	72.7%
長期資金借入難易度	1.容易	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	2.不変	90.9%	90.9%	80.0%	90.0%
	3.困難	9.1%	9.1%	10.0%	10.0%
短期資金借入難易度	1.容易	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	2.不変	90.9%	90.9%	80.0%	80.0%
	3.困難	9.1%	9.1%	10.0%	10.0%
借入金利	1.上昇	18.2%	9.1%	30.0%	10.0%
	2.不変	81.8%	81.8%	70.0%	90.0%
	3.低下	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%



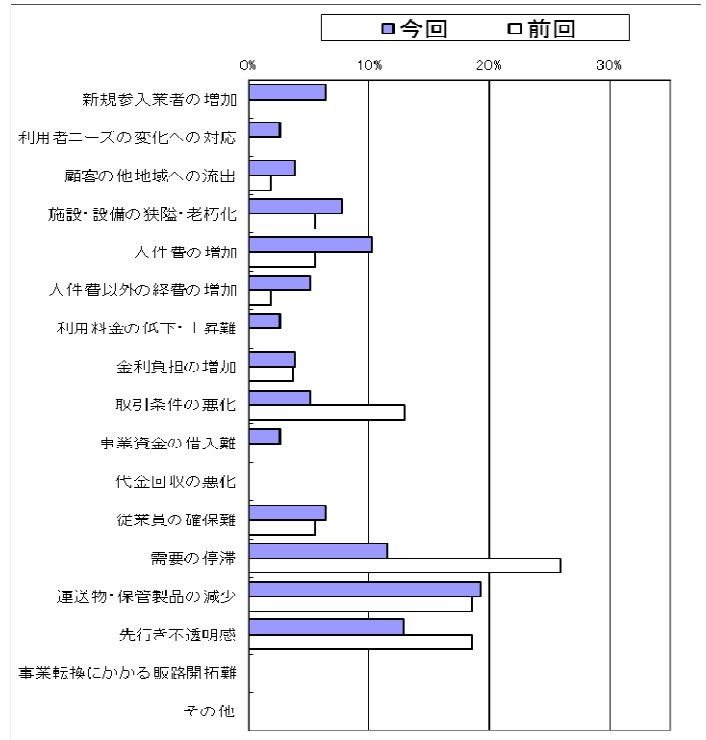
【運輸・通信・倉庫業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
売上状況	1.増加	35.7%	42.9%	20.0%	50.0%
	2.不変	28.6%	7.1%	50.0%	30.0%
	3.減少	35.7%	50.0%	30.0%	20.0%
採算状況 (経常利益)	1.好転	21.4%	21.4%	18.2%	20.0%
	2.不変	42.9%	42.9%	54.5%	50.0%
	3.悪化	35.7%	35.7%	27.3%	30.0%
設備操業率	1.上昇	14.3%	28.6%	10.0%	30.0%
	2.不変	64.3%	42.8%	70.0%	70.0%
	3.低下	21.4%	28.6%	20.0%	0.0%
引合(取引に ついての問い 合わせ状況)	1.活発	0.0%	7.1%	10.0%	20.0%
	2.普通	50.0%	42.9%	50.0%	70.0%
	3.低調	50.0%	50.0%	40.0%	10.0%
設備投資 水準	1.高い	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	2.不変	57.1%	57.1%	80.0%	80.0%
	3.低い	42.9%	42.9%	20.0%	10.0%
業況(自社)	1.好転	21.4%	21.4%	20.0%	20.0%
	2.不変	57.2%	42.9%	50.0%	70.0%
	3.悪化	21.4%	35.7%	30.0%	10.0%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移 (正社員)	1.増加	21.4%	38.5%	44.4%	33.3%
	2.不変	78.6%	61.5%	55.6%	44.4%
	3.減少	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
従業員の推移 (臨時・パート)	1.増加	16.7%	41.7%	57.1%	57.1%
	2.不変	75.0%	41.7%	42.9%	42.9%
	3.減少	8.3%	16.6%	0.0%	0.0%
従業員の推移 (派遣)	1.増加	18.2%	9.1%	0.0%	12.5%
	2.不変	63.6%	81.8%	87.5%	75.0%
	3.減少	18.2%	9.1%	12.5%	12.5%
求人数の推移	1.増加	25.0%	25.0%	25.0%	37.5%
	2.不変	66.7%	66.7%	75.0%	50.0%
	3.減少	8.3%	8.3%	0.0%	12.5%
新規採用者数 の推移	1.増加	8.3%	25.0%	37.5%	25.0%
	2.不変	83.4%	66.7%	37.5%	62.5%
	3.減少	8.3%	8.3%	25.0%	12.5%
うち新規高卒採 用者数の推移	1.増加	9.1%	27.3%	25.0%	12.5%
	2.不変	90.9%	72.7%	50.0%	75.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%
中途採用者数 の推移	1.増加	25.0%	25.0%	14.3%	37.5%
	2.不変	75.0%	75.0%	57.1%	50.0%
	3.減少	0.0%	0.0%	28.6%	12.5%
雇用と求人 のミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	91.7%	58.3%	87.5%	75.0%
	3.拡大	8.3%	41.7%	12.5%	25.0%

④

②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	7.1%	0.0%	0.0%	20.0%
	2.不変	71.5%	78.6%	80.0%	60.0%
	3.悪化	21.4%	21.4%	20.0%	20.0%
受取手形 期間	1.長期化	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	35.7%	42.9%	40.0%	40.0%
	3.短期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	57.2%	57.1%	60.0%	60.0%
長期資金 借入難易 度	1.容易	15.4%	23.1%	30.0%	30.0%
	2.不変	46.2%	61.5%	50.0%	50.0%
	3.困難	38.4%	15.4%	20.0%	20.0%
短期資金 借入難易 度	1.容易	15.4%	15.4%	30.0%	30.0%
	2.不変	53.8%	69.2%	50.0%	60.0%
	3.困難	30.8%	15.4%	20.0%	10.0%
借入金利	1.上昇	7.7%	7.7%	10.0%	10.0%
	2.不変	84.6%	84.6%	80.0%	80.0%
	3.低下	7.7%	7.7%	10.0%	10.0%



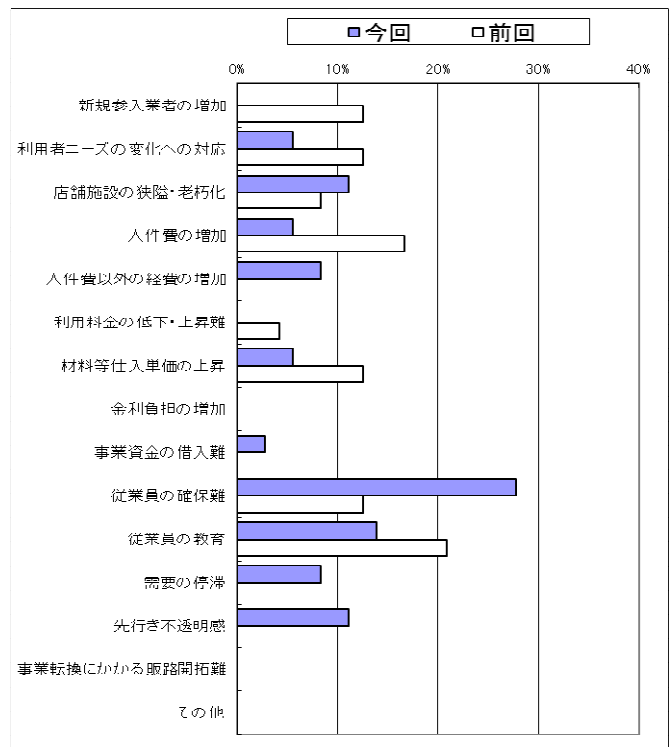
【料理・飲食・旅館業】

①		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
生産(収入)状況	1.増加	28.6%	28.6%	75.0%	25.0%
	2.不変	28.6%	57.1%	25.0%	50.0%
	3.減少	42.8%	14.3%	0.0%	25.0%
客単価	1.上昇	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	14.3%	42.9%	75.0%	0.0%
	3.低下	85.7%	42.9%	25.0%	100.0%
利用客数	1.増加	28.6%	14.3%	50.0%	25.0%
	2.不変	42.8%	57.1%	50.0%	25.0%
	3.減少	28.6%	28.6%	0.0%	50.0%
仕入単価(材料等)	1.上昇	71.4%	71.4%	50.0%	50.0%
	2.不変	28.6%	28.6%	25.0%	50.0%
	3.低下	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
採算状況(経常利益)	1.好転	28.6%	28.6%	50.0%	25.0%
	2.不変	28.6%	42.8%	50.0%	25.0%
	3.悪化	42.8%	28.6%	0.0%	50.0%
設備投資水準	1.高い	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	28.6%	14.3%	50.0%	50.0%
	3.低い	71.4%	71.4%	50.0%	50.0%
業況(自社)	1.好転	14.2%	14.3%	25.0%	25.0%
	2.不変	42.9%	57.1%	75.0%	50.0%
	3.悪化	42.9%	28.6%	0.0%	25.0%

③		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
従業員の推移(正社員)	1.増加	14.3%	42.9%	25.0%	0.0%
	2.不変	57.1%	57.1%	75.0%	100.0%
	3.減少	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員の推移(臨時・パート)	1.増加	0.0%	42.6%	25.0%	0.0%
	2.不変	85.7%	57.1%	50.0%	100.0%
	3.減少	14.3%	0.0%	25.0%	0.0%
従業員の推移(派遣)	1.増加	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	83.3%	50.0%	75.0%	50.0%
	3.減少	16.7%	0.0%	25.0%	50.0%
求人数の推移	1.増加	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	85.7%	85.7%	100.0%	75.0%
	3.減少	14.3%	0.0%	0.0%	25.0%
新規採用者数の推移	1.増加	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
	2.不変	57.1%	71.4%	50.0%	50.0%
	3.減少	14.3%	0.0%	50.0%	50.0%
うち新規高卒採用者数の推移	1.増加	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	85.7%	85.7%	50.0%	50.0%
	3.減少	14.3%	0.0%	50.0%	50.0%
中途採用者数の推移	1.増加	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	71.4%	85.7%	75.0%	75.0%
	3.減少	14.3%	0.0%	25.0%	25.0%
雇用と求人とのミスマッチ状況	1.縮小	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	42.9%	42.9%	50.0%	50.0%
	3.拡大	57.1%	57.1%	50.0%	50.0%

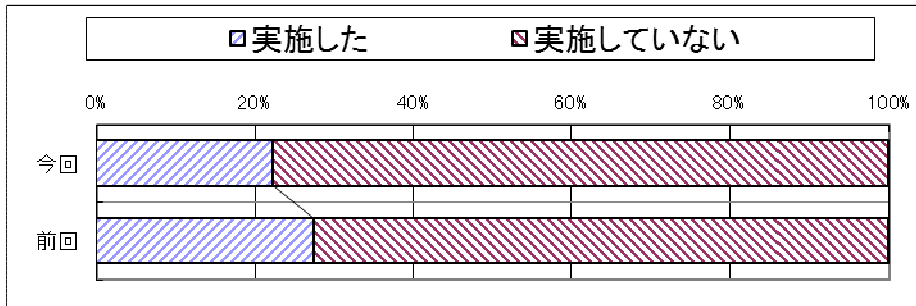
②		今回		前回	
		来期見込	実績	来期見込	実績
資金繰り	1.好転	0.0%	16.7%	25.0%	25.0%
	2.不変	83.3%	83.3%	75.0%	25.0%
	3.悪化	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%
受取手形期間	1.長期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2.不変	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	3.短期化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.手形なし	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%
長期資金借入難易度	1.容易	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	2.不変	50.0%	50.0%	75.0%	75.0%
	3.困難	33.3%	16.7%	25.0%	25.0%
短期資金借入難易度	1.容易	16.7%	33.3%	0.0%	25.0%
	2.不変	50.0%	50.0%	100.0%	75.0%
	3.困難	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
借入金利	1.上昇	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	2.不変	66.6%	83.3%	100.0%	100.0%
	3.低下	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

④



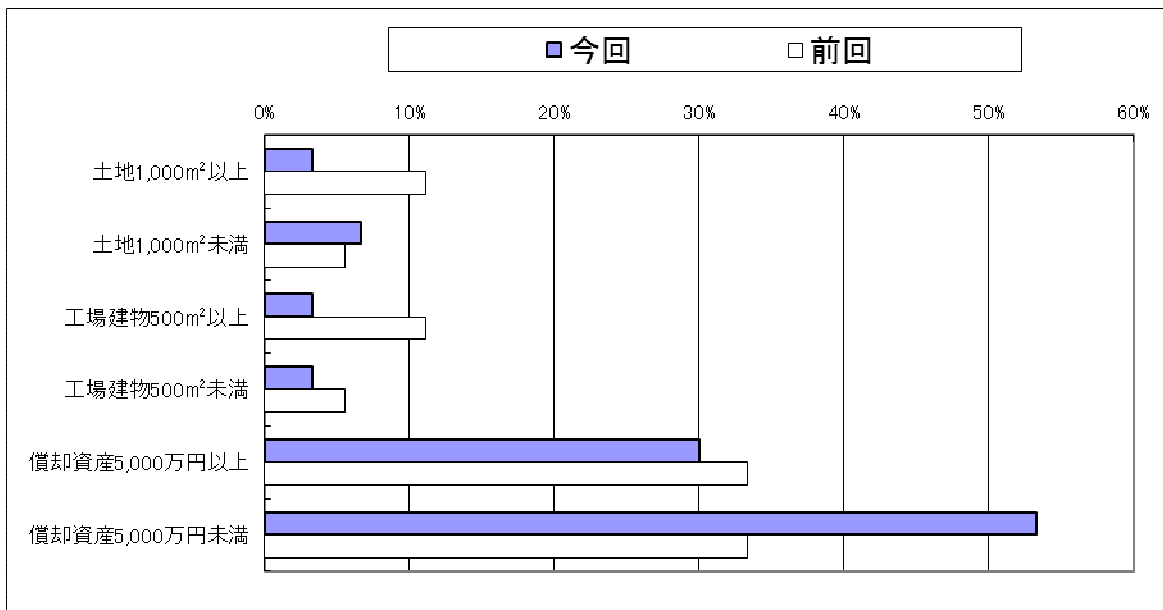
(7) 空き工場、空き地について

- ① 今年上半期（平成23年1～6月）、新たな設備投資（賃貸を含む。）を実施しましたか。
 22.4%が新たな設備投資を実施している。

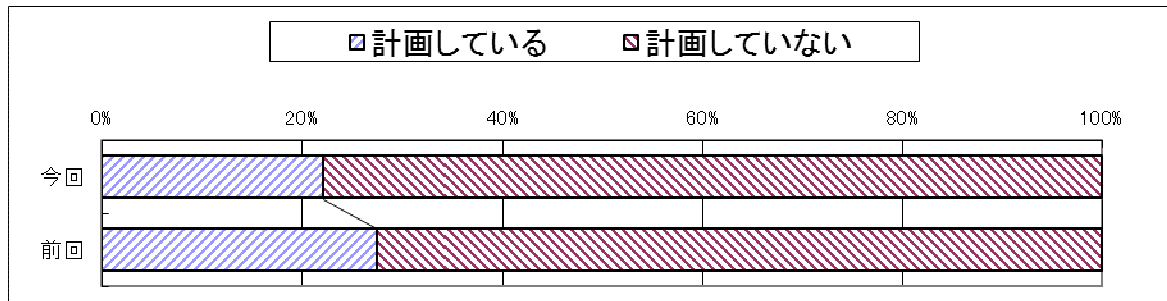


- ② ①で「実施した」と回答された方にお聞きします。
どれくらいの投資規模でしたか。

設備投資規模は、「償却資産 5,000 万円未満」が 53.3%で前回比 20 ポイント増加しており、「償却資産 5,000 万円以上」が 30.0%で同 3.3 ポイント減少している。

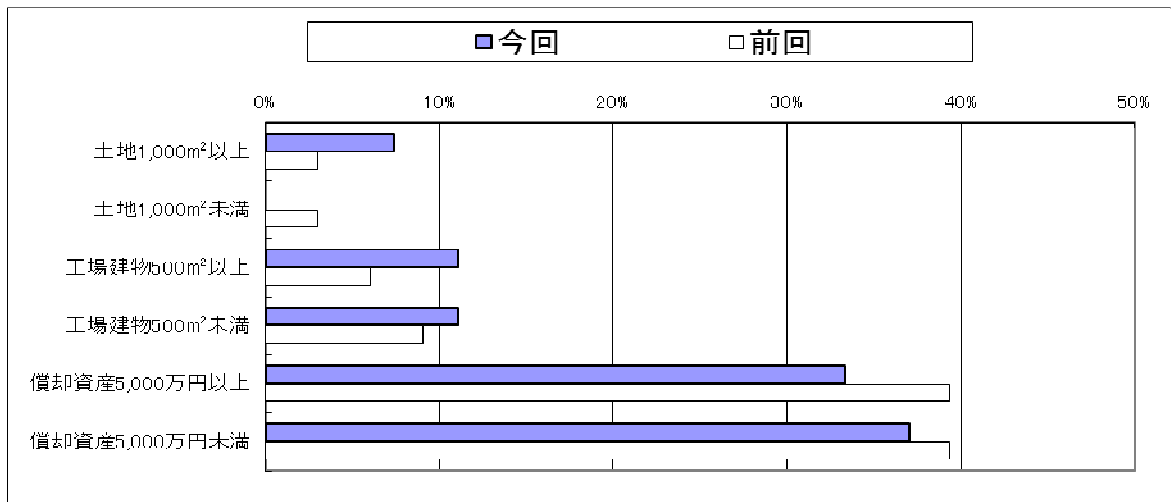


- ③ 今年下半期（平成23年7～12月）、新たな設備投資（賃貸を含む。）を計画していますか。
 22.1%が新たな設備投資を計画している。

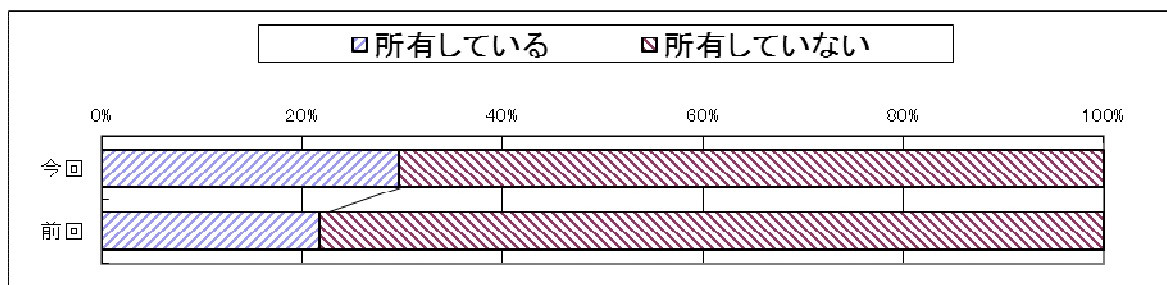


- ④ ③で「計画している」と回答された方にお聞きします。
どれくらいの投資規模を計画していますか。

設備投資規模は、「償却資産5,000万円未満」が37.0%と最も多い。



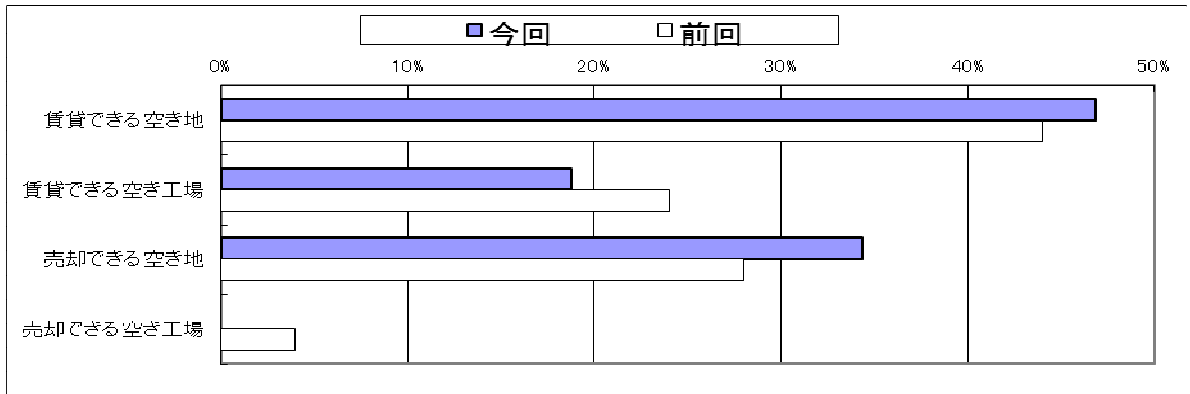
- ⑤ 現在、空き用地及び空き工場を所有しておられますか。
 29.7%が空き地及び空き工場を所有している。



⑥ ⑤で「所有している」と回答された方にお聞きします。

どのような資産を所有していますか。

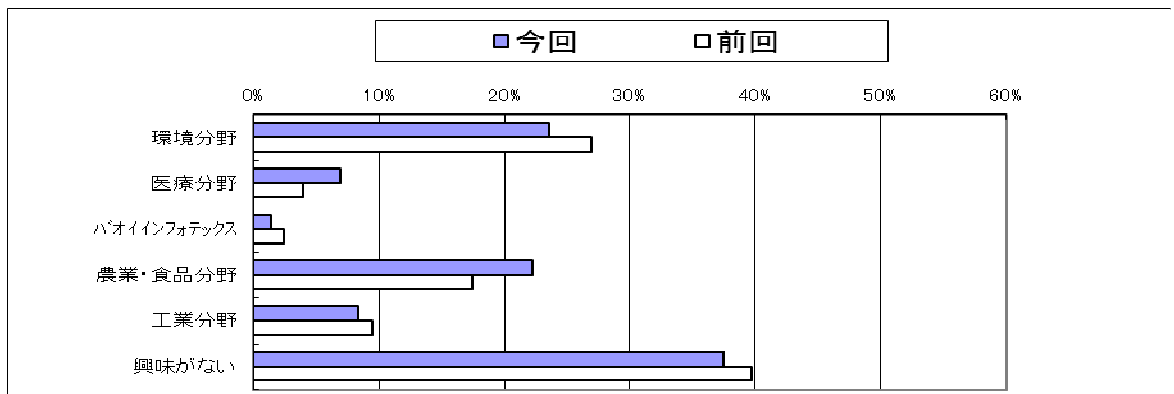
所有資産は、「賃貸できる空き地」が46.9%、「売却できる空き地」が34.4%となっている。



(8) バイオ関連産業

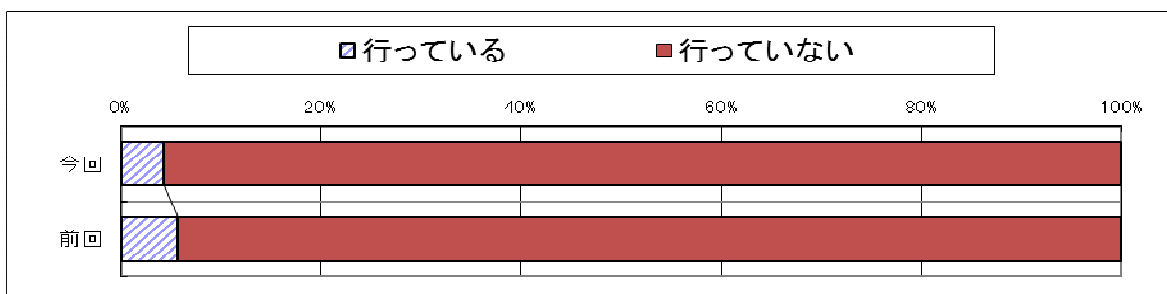
① バイオ関連事業のどのような分野に興味がありますか。

「環境分野」への興味が23.6%と最も多く、次いで農業・食品分野となっている。



② バイオ関連の事業を実際に行っていますか。

4.2%の企業が実際にバイオ関連事業を行っている。

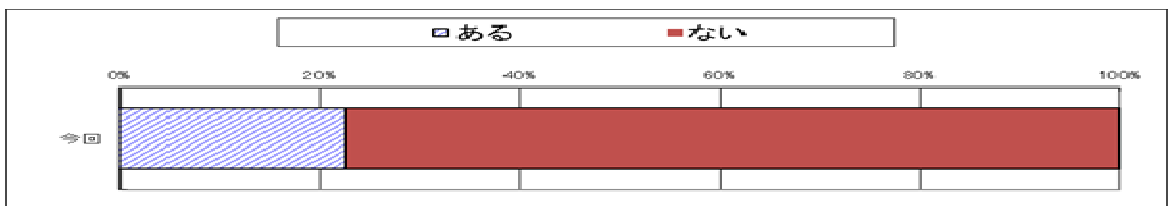


③ ②で「行っている」と回答された方にお聞きます。取り組まれている事業について差し支えない範囲で記入してください。

- マイナスイオン発生塗料・ナノ水発生開発
- 物流資材のリユースの促進、物流資材の洗浄・衛生。
- 植物工場
- PLAを原料とした製品製造

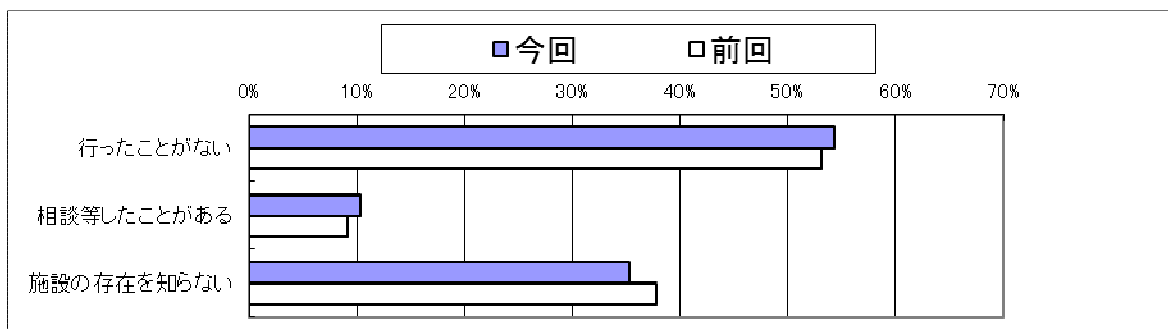
④ ②で「行っていない」と回答された方にお聞きます。今後新規事業としてバイオ関連事業に取り組みたい意向はありますか。

22.6%が新規事業として取り組みたい意向がある。



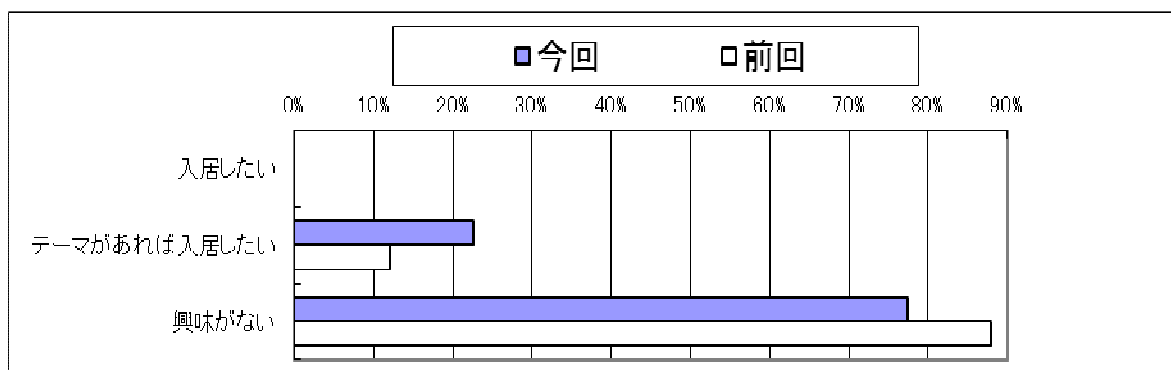
⑤ 長浜バイオインキュベーションセンターをご存じですか。

「施設の存在は知っているが、行ったことがない」が54.3%で最も多い。



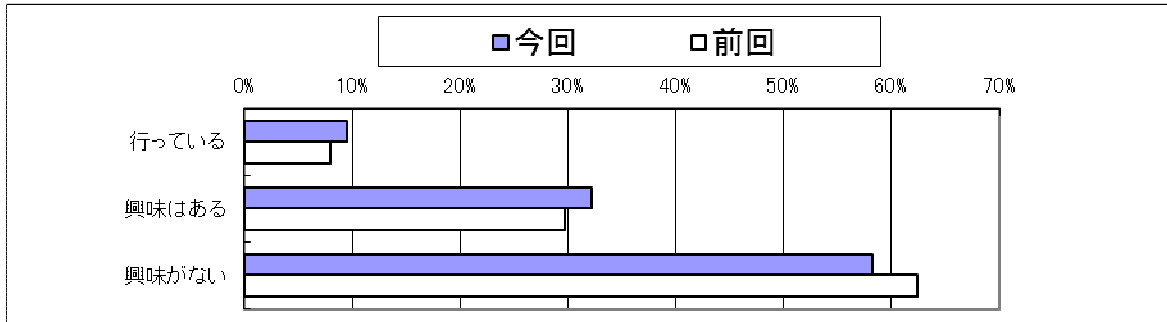
⑥ 長浜バイオインキュベーションセンターへの入居について入居意向はありますか。

「テーマがあれば入居したい」は22.5%となっている。



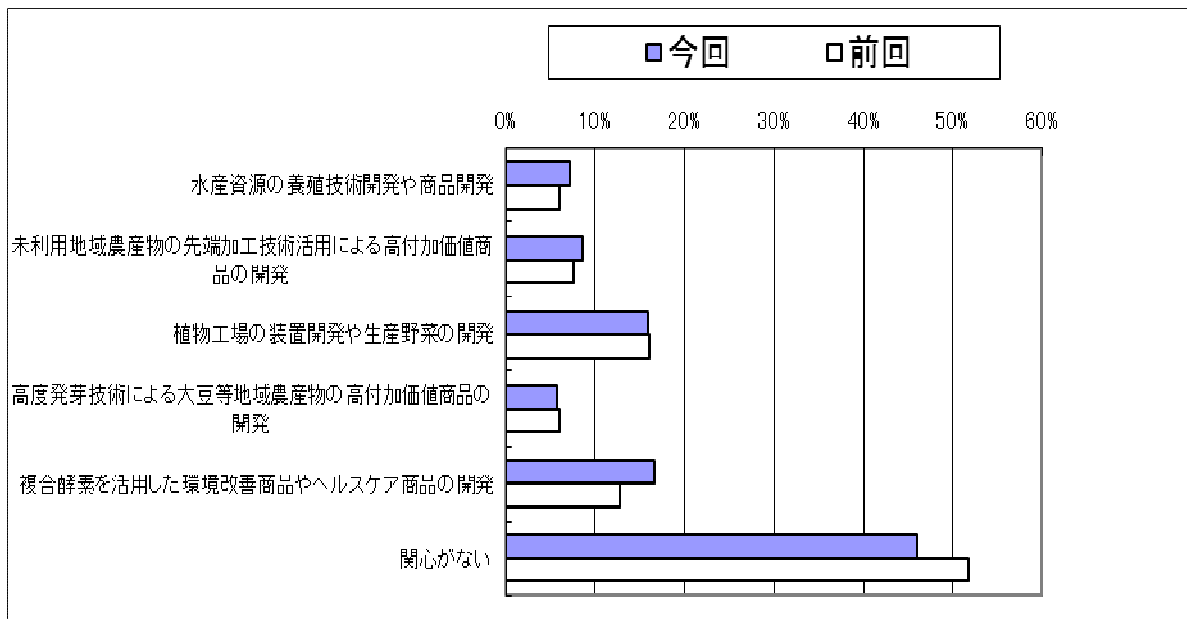
⑦ 大学や公設試験研究機関と産学官連携の共同研究を行っている、または興味がありますか。

「行っている」は9.6%、「興味はある」は32.2%となっている。



⑧ 本市では、長浜サイエンスパークのバイオ技術を活用したプロジェクトとして下記の取り組みを行っていますが、どの取り組みに関心がありますか。

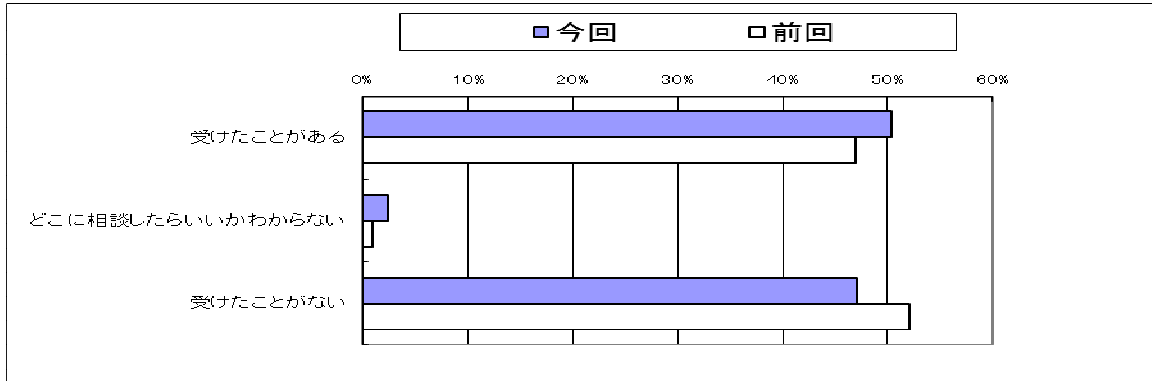
「複合酵素を活用した、水質、土壌、消臭等環境改善商品やヘルスケア商品の開発」が16.5%と最も多く、続いて「植物工場の装置開発や生産野菜の開発」が15.8%となっている。



(9) 経営課題について

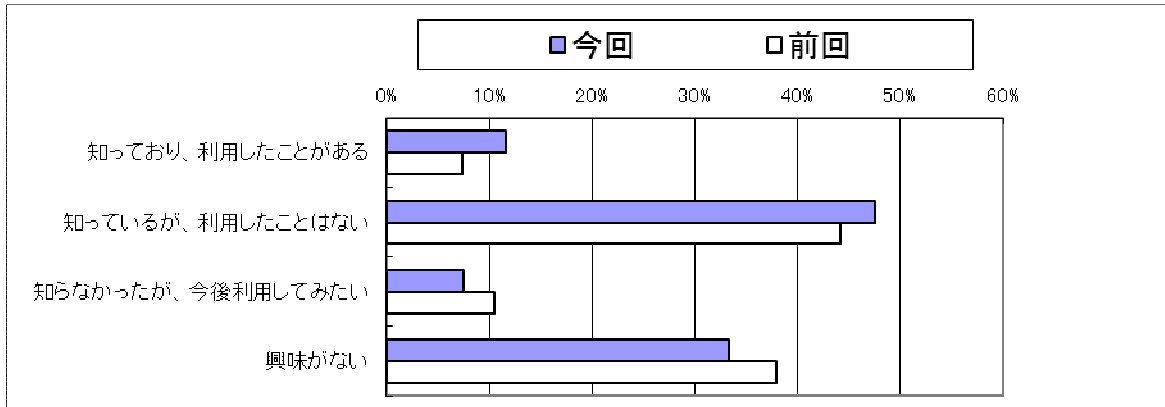
① 経営課題の解決のため、専門家からのアドバイスを受けられたことがありますか。

50.4%がアドバイスを「受けたことがある」と回答している。



② 財団法人滋賀県産業支援プラザでは、専門家派遣制度（有料）を行っております。この制度をご存知ですか。また、利用されたことがありますか。

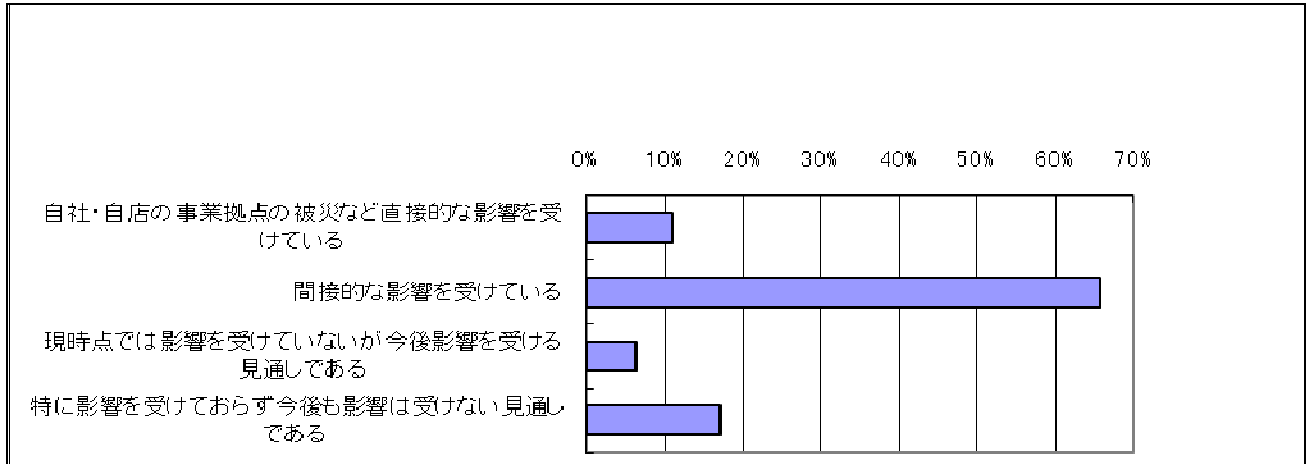
「知っているが、利用したことはない」が47.5%で最も多い。



(10) 東日本大震災による事業活動への影響について

① 今回の震災により、事業活動に何らかの影響を受けていますか。

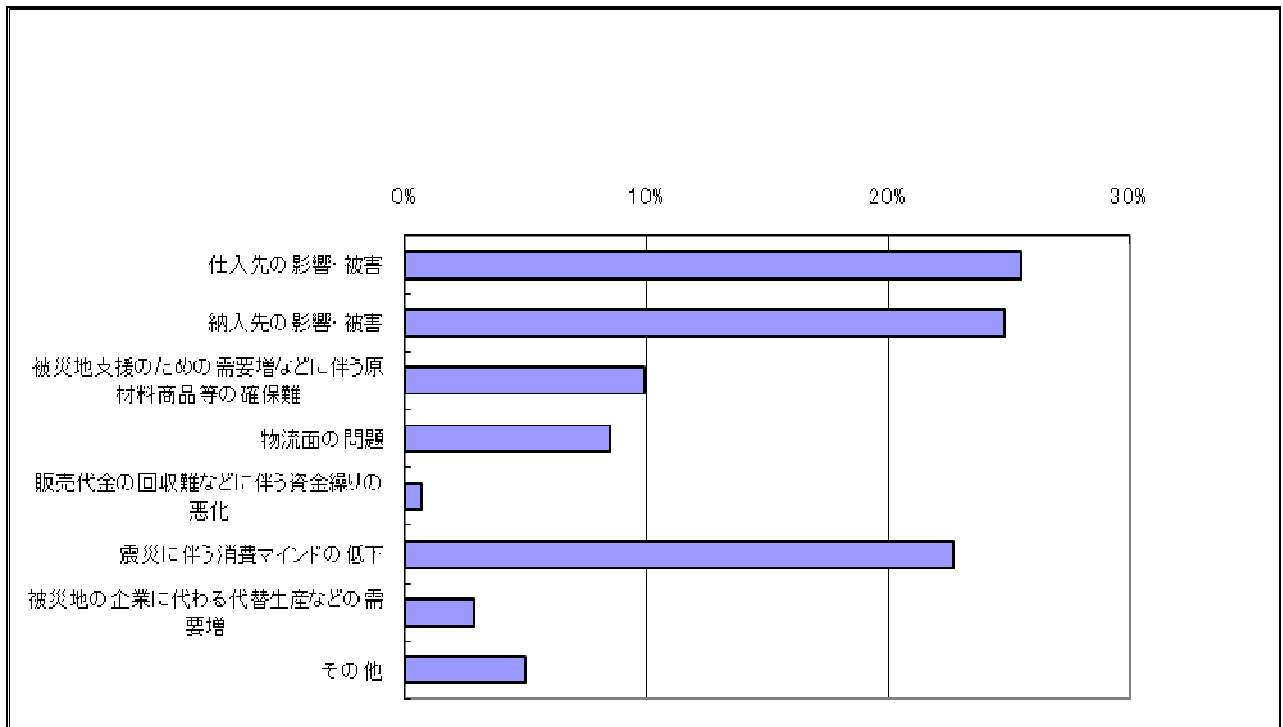
10.9%が「直接的な被害を受けている」、65.6%が「間接的な影響を受けている」と回答している。



② ①で「イ. 間接的な影響を受けている。」「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。

影響を受けている（受ける見通しである）理由について、次のうちあてはまるもの全てをお答えください。

「仕入先の影響・被害」が 25.5%、「納入先の影響・被害」が 24.8%となっている。



③ ①で「イ. 間接的な影響を受けている。」「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。

影響を受けている（受ける見通しである）具体的な内容や、それに対して今後考えている対応などについて記入してください。

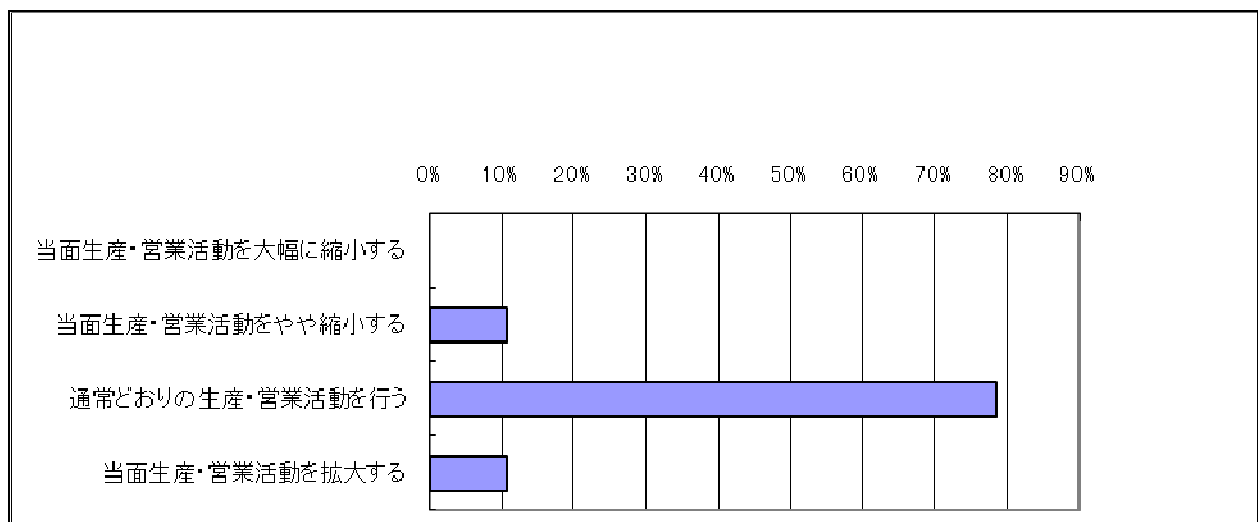
- ゴムパッキンが入らなかったがすでに見通しよい
- お客様の自粛ムード
- 客先の生産がストップした事
- 一時的に仕入先より原材料の入荷が遅れた。納入先においてはラインがストップした。現在は全て回復している。
- 現在は解消している。
- 東京の納入先においては当社と被災地（工場がストップ）の2社からの納入が多く、当社に対して被災地工場分の数量の納入依頼があり、当社にて対応させて貰った。しかし、原材料の値上がりや計画仕入以上となってしまったことにより、他の納入先への遅れが発生し困惑した。
- テーマパークからの受注減
- 商品の部品メーカーが被災し、その部品がないため商品の生産が休止している。当社の主力商品なので影響は大きい。
- 休業
- 仕入先の被害のため原材料の入荷が安定しないため在庫をかなり増加した。
- 売上の減少
- 新車開発の遅延による金型受注の減少、型費の下落、新規取引先の拡大
- すでに回復済み
- 一部の部品入手が困難となった時期はあったが、すでに解消した。
- 受注のキャンセル、受注の減少、自社努力と金融機関の支援
- 販売量の落ち込みや回復時期などの見通しが立てにくい。
- 現在のキモノに対して優先順位はかなり時間が必要である。
- 仕入先の供給能力低下の問題が発生したが、現在では問題は解決された。
- 一部の部材の調達が困難となり、他の調達先を探した。また、一部得意先への納品が停止しており現時点でも見通しが立っていない。
- 震災に伴う消費マインドの低下
- 仕入商品が限定されている。
- 東京の顧客の消費マインドの落ち込み。東北地方のメーカーの商品・原材料の一部生産停止。
- 物流の減少
- 得意先の物流網寸断により、需要減少。
- 節電に伴う生産ラインの停止、人員調整。
- 店舗改装時のエアコンや建築資材等の仕入れ難。
- 受注量の変更が頻繁にある。前倒生産依頼があった後、1カ月後に部品調達不足での生産計画延期依頼等。

- 対応を考えてない
- 投資時期の見通しをたてる。原材料価格の先行きを見通す。→投資の前倒しも一部行う。
- 他得意先からの仕事受注で補填している
- 被災地を思う人達の節約マインドが消費マインドの低下に結び付いて行く事が懸念される。
- 納入先への人材派遣、設備復旧対応支援など。
- ユーザー様の復興を望むのみ
- 過剰な自粛ムード、抜本的な旅への意識変化
- パチンコを中心としたアミューズメント関連商品が新規案件が遅延しており、今期下期予定していた案件が来期又は中止となっている。
- 関係部品を東北地方で生産していたため。
- 現時点では通常に回復している。(車関係)
- 仕入先の変更又は、代替品への転換
- 外部サイデングが揃わないので後期が延びた。エコキュートの入荷が遅れた。それぞれ時間が解決した。
- 電力不足、大手メーカーの海外移転
- 受注量の減少による生産量の減少が大きな影響要因であるが徐々に回復傾向となつてきはじめています。
- 対応策はない。
- 自動車メーカーの減産によるサービス業（修理・点検・車検）売上増

④ ①で「ア. 自社・自店の事業拠点の被災など、直接的な影響を受けている。」～「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。

今回の震災の影響による当面の生産・営業活動について、次のうちあてはまるものを1つお答えください。

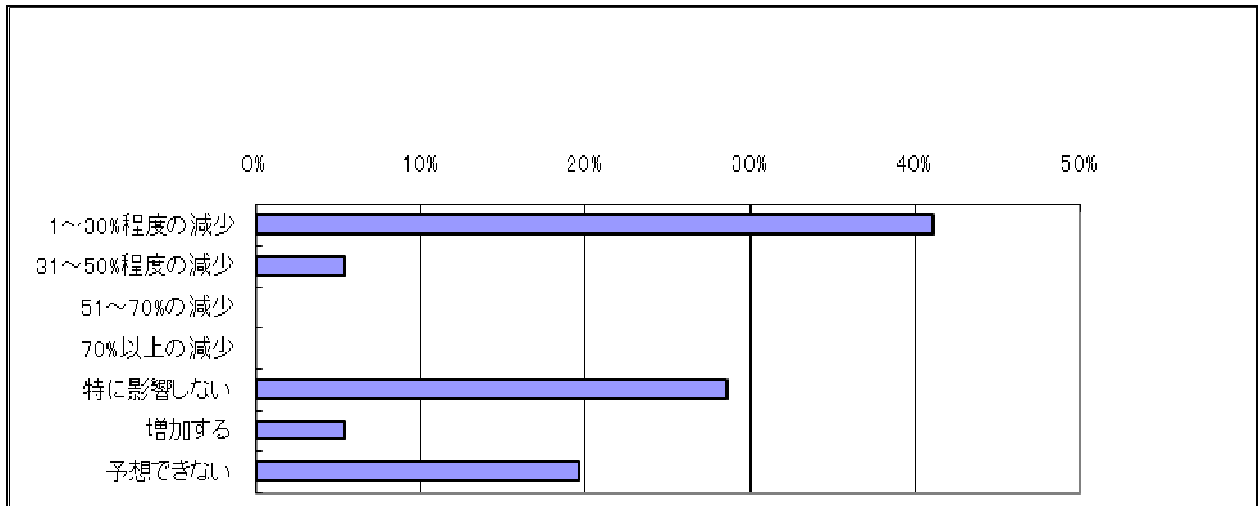
「通常どおりの生産・営業活動を行う」が78.6%となっている。



⑤ ①で「ア. 自社・自店の事業拠点の被災など、直接的な影響を受けている。」～「ウ. 現時点では影響を受けていないが、今後影響を受ける見通しである。」と答えた方にお聞きします。

今回の震災により、今後1年の売上高にどれくらい影響を及ぼすとお考えですか。

「1～30%程度の減少」が41.1%と最も多くなっている。



⑥ 震災の影響により、市へ求める取組みがありましたら記入してください。

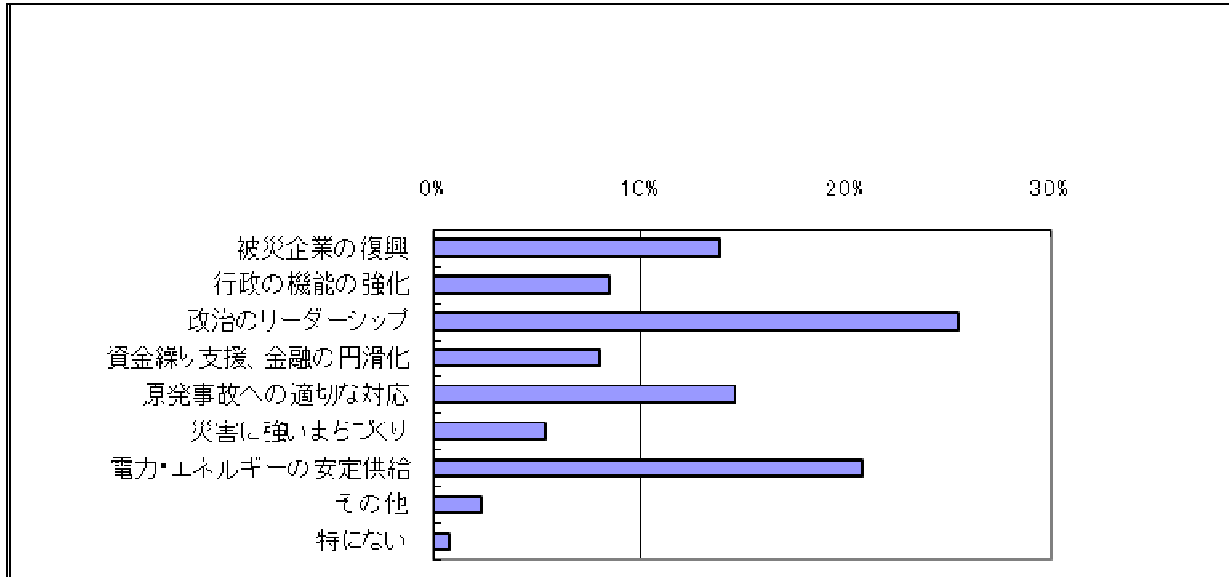
○都心に支店をもっている事業者・所への直接的な補助金制度

○東北大震災は人々の生活に大きな影響を及ぼしている事は間違いありませんが、原発の問題が非常に重要な課題だと思われまます。供給電力過剰、自然環境破壊等の理由で木之本町金居原に建設半ばで中止になった関西電力の揚水発電所を再度立上げ原発依存から自然エネルギーに移す事が出来れば、就業人口も増え、観光スポットにもなり町の活性化に結び付ける事は間違いないと思われまます。日本中が関心を持つエネルギー政策に答える事の出来る事業になり、国からの援助も得る事が出来るのではないのでしょうか。

○被災地の労働力（職をなくされた方々）を長浜市内で積極的に雇用できる体制づくりを期待する。

⑦ 今、取り組むべき最も大切なことは何であるとお考えですか。次のうちあてはまるものをお答えください。

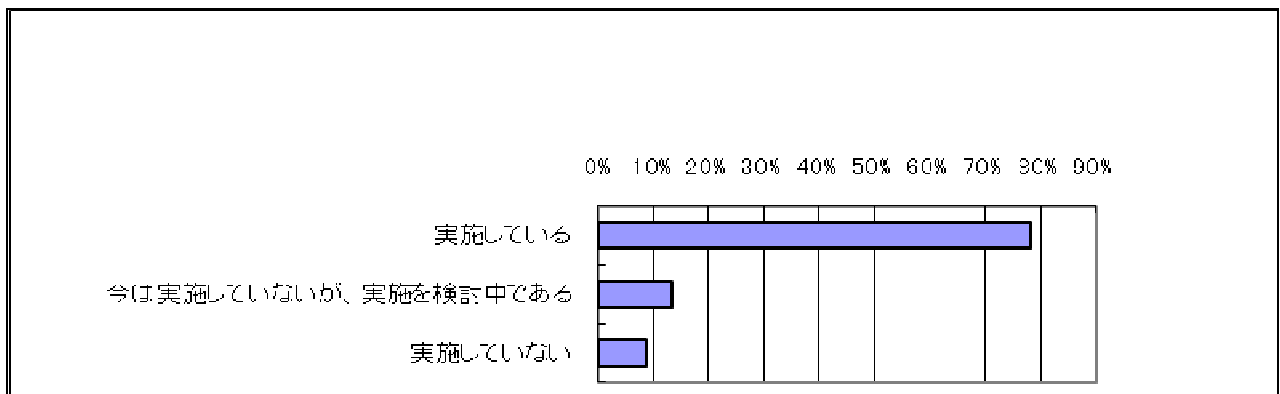
「政治のリーダーシップ」が 25.5%、「電力・エネルギーの安定供給」が 20.8%となっている。



(11) 今夏の節電対策について

① 全国的な電力不足が懸念されるなか、何らかの節電対策を実施していますか。

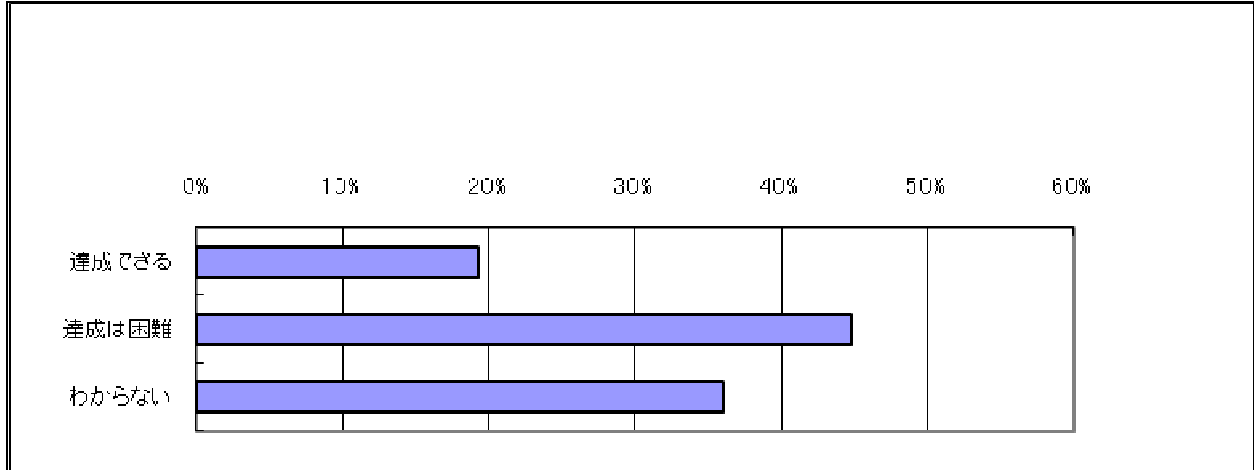
「実施している」が 78.1%と最も多く、8割近くの企業が何らかの節電対策を行っている。



② 関電節電要請15%程度についてお聞きします。あてはまるものをお答えください。

「達成は困難」が44.8%と最も多く、次いで「わからない」が36.0%となった。

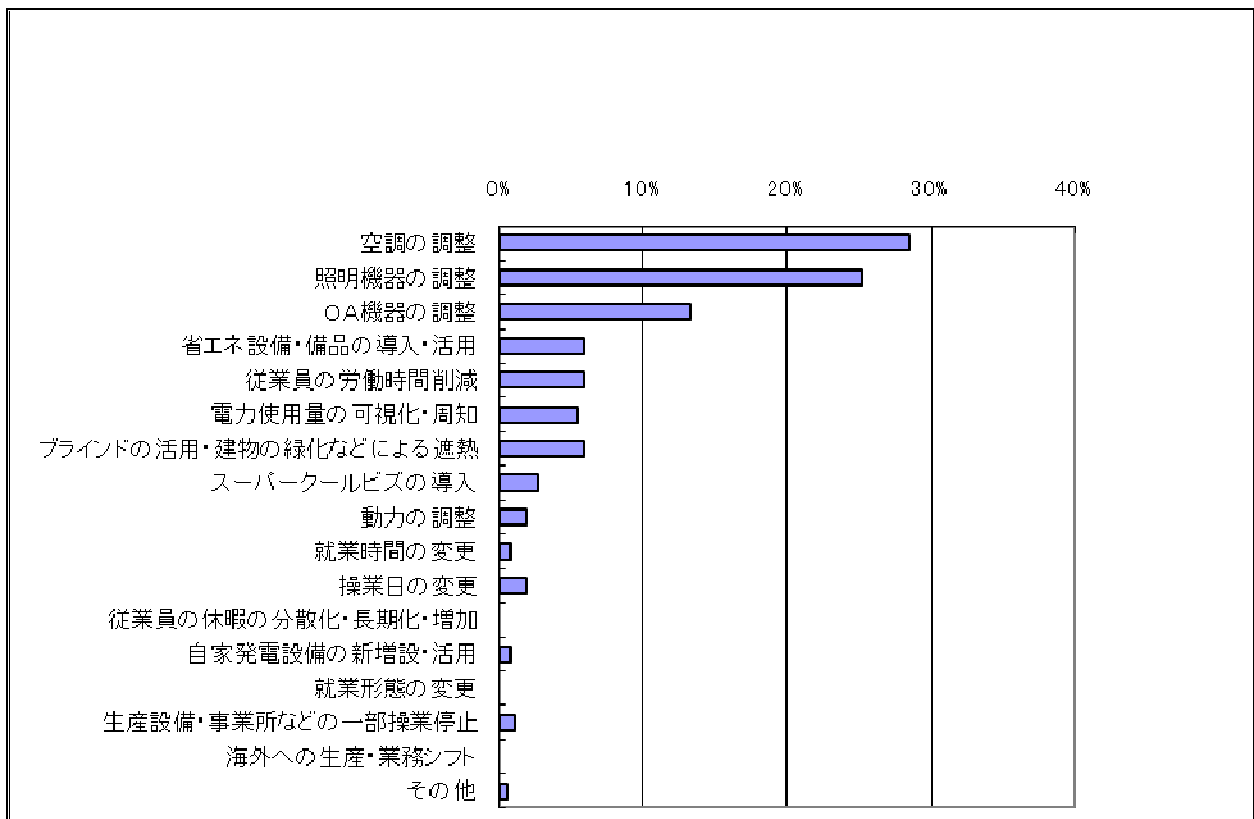
「達成は困難」となった企業のうち、「5%であれば達成できる」が37.8%、「7%であれば達成できる」「10%であれば達成できる」がともに31.1%となった。



③ ①で「ア. 実施している。」「イ. 今は実施していないが、実施を検討中である」と答えられた方にお聞きします。

実施している（実施を検討中である）節電対策について、次のうちあてはまるもの全てをお答えください。

「空調の調整」が28.5%と最も多く、次いで「照明機器の調整」が25.2%となった。また、節電対策として1.1%の企業が「生産設備・事業所などの一部操業停止」を行っている。



④ 生産活動等への影響がありましたら記入してください。

○弊社は24時間稼働の体制で操業しており、電力不足問題は深刻な問題です。操業時間の削減等は、企業の収益の低下に直結します。

○現時点での影響はないが、今後更なる節電要請を受けた場合、設備稼働の見通しが必要になると思われる。

○室内設定温度を上げる事による疲労感。